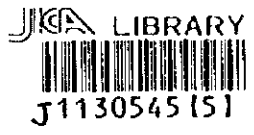


モロッコ

高等海事学院プロジェクト
実施協議調査団報告書

平成8年2月



国際協力事業団
社会開発協力部

社協二
JR
96-003

ARY

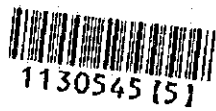
モ ロ ッ コ

高等海事学院プロジェクト

実施協議調査団報告書

平成8年2月

国際協力事業団
社会開発協力部



1130545 (5)

序 文

モロッコ王国は北は大西洋と地中海に面し、南はサハラ砂漠に面しているため、国際貿易における海運の重要性は高い。同国政府は、現在政令化準備中の投資奨励一般計画において海運分野を優先的に推進すべく検討中であり、また、船員の訓練・資格証明・当直基準などを規定し、海上における人命及び財産の安全並びに海洋環境の保護及び増進を目的とするSTCW条約（International Convention on Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers, 1978：1995年7月改正）を批准準備中である。

かかる背景のもと、モロッコ王国政府は、同国唯一の上級船員養成機関である高等海事学院（ISEM：Institut Supérieur des Etudes Maritimes）の教官の能力向上、施設・機材の充実及びカリキュラムの改善などにより、同学院の教育訓練の水準を高めることを目的として、我が国に対しプロジェクト方式技術協力を要請越した。

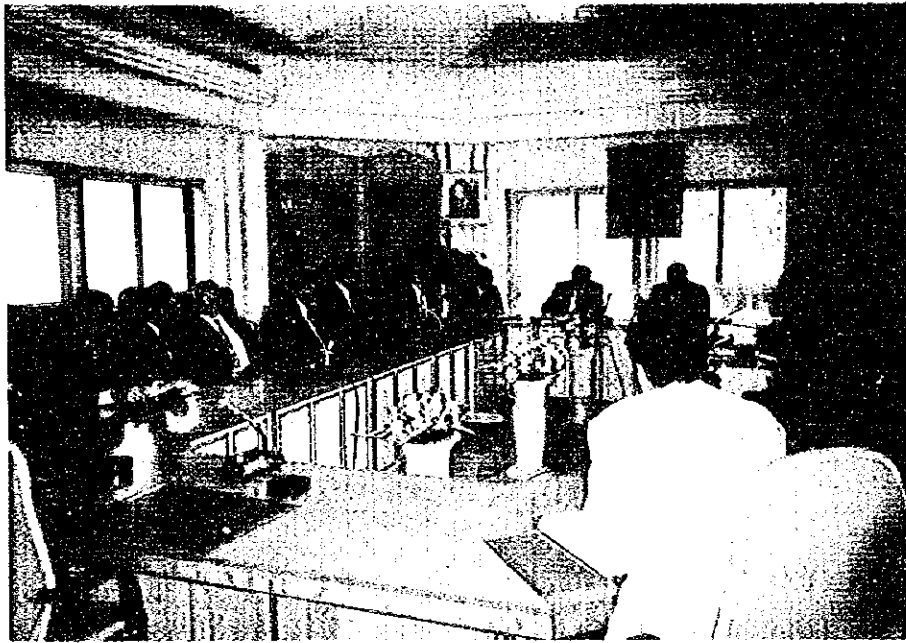
これを受け国際協力事業団は、1995年（平成7年）1月22日から2月14日までの日程で事前調査団、同年9月17日から10月9日までの日程で長期調査チームを派遣し、プロジェクト実施に係る調査を実施した。

これら調査の結果を踏まえ、1996年（平成8年）1月8日から1月20日までの日程で討議議事録及び暫定実施計画などを締結することを目的として、運輸省 航海訓練所 航海科長の望月二郎氏を団長として実施協議調査団を派遣した。

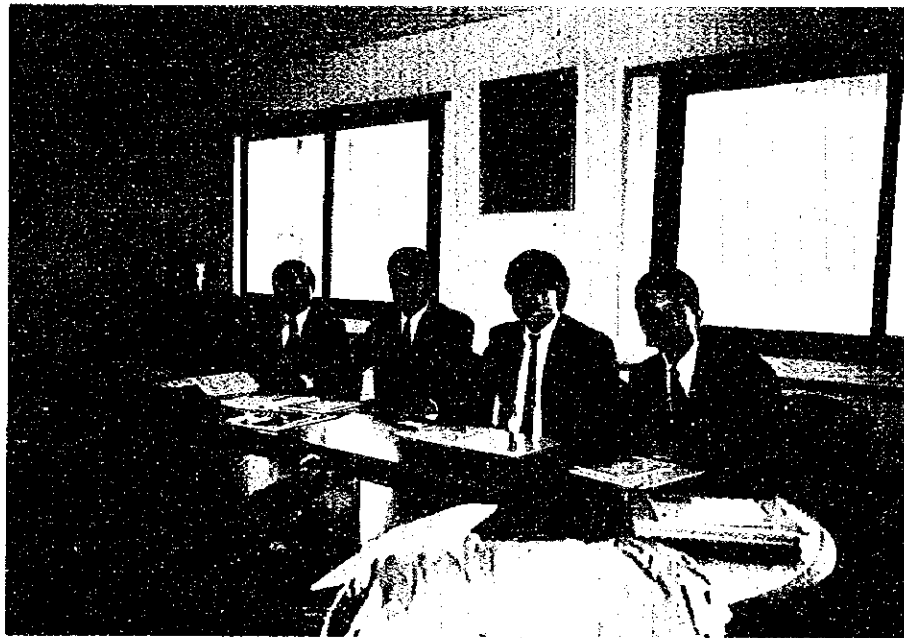
本報告書は、この調査結果を取りまとめたものである。ここに、調査の任に当たられた団員の方々、並びにご協力頂いた外務省、運輸省など関係各位に心から感謝の意を表するとともに、今後のご支援をお願いする次第である。

平成8年2月

国際協力事業団
理事 佐藤 清



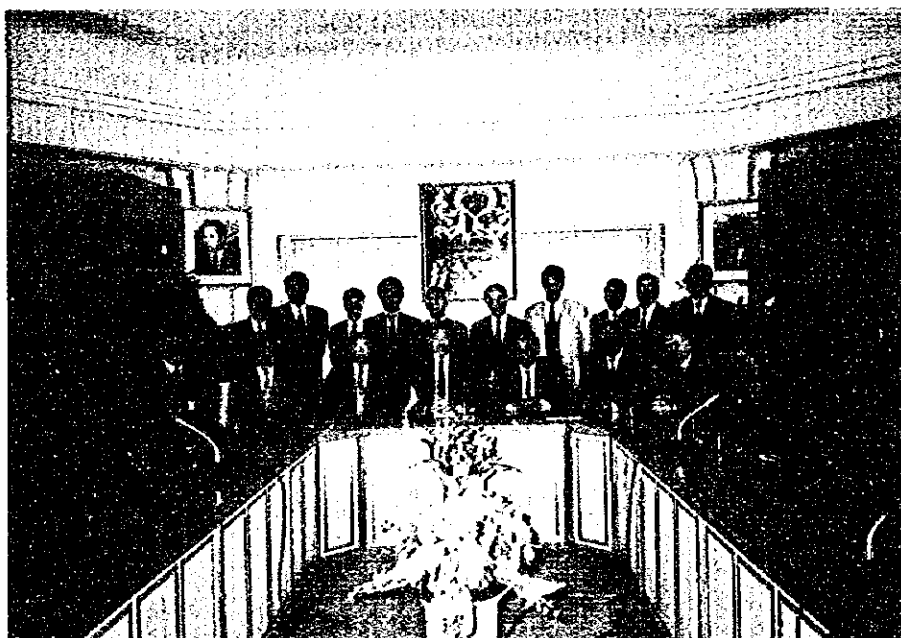
協議風景（漁業・海運省にて）



実施協議調査団員
（左より、濱田団員、床井団員、望月団長、大前団員、上枝団員）



望月団長とラルバウイ船員訓練・職業促進局長によるR/D署名・交換



実施協議参加者一同

前列右より、BENTIBA外務協力省アジア・オセアニア協力部長、LOUKILI校長、RHARBAOUI船員訓練・職業促進局長、望月団長、床井団員、恵原JICA事務所長、HROUCH高級クラーク、後列右より、BAUDOT教務部長、BOUDINAR CQPMカサブランカ校長、BELRHAZI協力プロジェクト部長、MOUDDEN技術部長、KOUHEN生涯教育部長、RAFIKY船員訓練部長、迫一等書記官、大前団員、金沢通訳、濱田団員、上枝団員、富田JICA事務所員

目 次

序文

写真

1. 実施協議調査団派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 日程表	2
1-4 主要面談者	2
2. 要約	5
3. モロッコの船員行政	13
4. 討議議事録の交渉経緯	15
4-1 交渉経緯	15
4-2 討議議事録等	16
4-3 討議議事録等の訳文	42
5. プロジェクト実施上の留意点	63
5-1 実施体制	63
5-2 実施計画	63
5-3 ディーゼルエンジンプラントに関して	63
附属資料	
① A1フォーム及びA4フォーム (アドバンス)	65

1. 実施協議調査団派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

モロッコ王国（以下、モロッコと略す）における上級船舶職員に係る船員教育は、高等海事学院（以下、ISEMと略す）において行われている。現在、同国漁業・海運省は、船員に必要とされる資格を規定する国際条約である、「船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約」（以下、STCW条約と略す）批准に向けて手続きを進めているところであり、当該条約批准のためには、船員教育機関における教育レベルが当該条約の最低基準を満たす必要がある。現在のISEMの教育機材、カリキュラム、指導要領などでは不十分であり、自助努力にも限界があるようである。

かかる背景のもと、モロッコ政府は、海運分野の士官クラスの養成及び能力の向上を図ることを目的として、我が国に対してプロジェクト方式技術協力を要請越した。

本要請を受けて、本件要請の背景、内容などについて情報収集及び協議を行い、技術協力の妥当性、協力範囲などにつき調査・協力することを目的として、平成7年（1995年）1月22日から2月14日までの日程で事前調査団が派遣され、更にモロッコの船員・海運政策の詳細、必要な供与機材の詳細及び現地調達の可能性などの重要事項に関して調査することを目的として、平成7年9月17日から10月9日の日程で長期調査チームが派遣された。

本調査団は、本プロジェクトの協力内容、協力方法などの最終的協議・確認と、協力実施計画の策定を行い、討議議事録(R/D)などの署名・交換を行うことを目的として、平成8年1月8日から同年1月20日の日程で派遣された。

1-2 調査団の構成

担当	氏名	所属
団長 総括	望月 二郎	運輸省航海訓練所航海科長
団員 船員政策	床井 健	運輸省海上技術安全局船員部労政課長
団員 船員教育（航海）	大前 正也	国際協力事業団社会開発協力部社会開発協力第二課 嘱託
団員 船員教育（機関）	濱田 直樹	第一中央汽船株式会社機関長
団員 協力企画	上枝 弘幸	国際協力事業団社会開発協力部社会開発協力第二課 職員

1-3 日程表

日順	月日	曜日	移動及び業務
1	1. 8	月	移動 東京→アムステルダム (JL411)
2	. 9	火	移動 アムステルダム-カサブランカ (KLI35) (陸路 カサブランカ→ラバト) JICAモロッコ事務所打合せ
3	.10	水	漁業・海運省表敬及び協議
4	.11	木	港湾及び船舶視察
5	.12	金	海運局表敬及び協議、ISEM調査及び協議
6	.13	土	資料整理及び社内打合せ
7	.14	日	同上
8	.15	月	漁業・海運省協議
9	.16	火	R/D、ミニッツ協議
10	.17	水	R/D、ミニッツ署名、外務・協力省報告、日本国大使館報告、JICAモロッコ事務所報告
11	.18	木	移動 (陸路 ラバト-カサブランカ) カサブランカ-アムステルダム (AT850)
12	.19	金	移動 アムステルダム
13	.20	土	東京 (JL412)

1-4 主要面談者

(1) モロッコ側

1) 漁業・海運省

Mr. Mohamed RHARBAOUI	船員訓練・職業促進局長
Mr. Mohamed TANGI	国際・法務局長
Mr. Mohamed MARGAOUI	海運局長
Mr. H. M. EL HOUSSEINI	海運局長代理
Mr. Abdelkabar RAFIKY	船員訓練部長
Mr. Ahmed EL KOUHEN	生涯教育部長
Ms. Meryem HROUCH	法務部長
Mr. Mouiyoine MOUDDEN	船員訓練課長
Mr. Abdelaziz TALEB	国際関係課長
Mr. Azzeddine BELRHAZI	協力プロジェクトフォローアップ部主任
小野 岩雄	JICA個別派遣長期専門家 (漁業教育)

2) 高等海事学院(ISEM)

Mr. Miloud LOUKILI	校長
Mr. Kamel LAKHSSASSI	事務長
Mr. Jean Pierre BAUDOT	教務部長
Mr. Abdelhak NAGUIB	航海科長
Mr. El Mustapha BOUDLAL	機関科長
Mr. Ali BERNI	レーダーシミュレータ担当教官
Mr. El Hadj BENLAKHOUY	機関科教官
Mr. Brahim BOUDINAR	機関科教官 (カサブランカ漁業学校校長兼任)
Mr. Mustapha ARRAH	教育事務課長

(2) 日本側

1) 在モロッコ日本国大使館

西村 元彦	特命全権大使
迫 久展	一等書記官

2) JICAモロッコ事務所

恵原 裕樹	所長
徳嵩 孝	次長
富田 規与美	所員
角前 庸道	所員
Mr. Haddou HROUCH	高級クラーク

2. 要約

本実施協議調査団は、1-1に述べた経緯のもとに、モロッコのISEMに関するプロジェクト方式技術協力計画の詳細を策定するため、モロッコを訪問し、前述の日程に基づいて、モロッコ側政府関係者、関係機関、諸団体の代表者等との協議及びISEMのスタッフとの協議及び施設の視察を行った。

我が国が派遣した調査団による過去2回の長期調査及び事前調査に基づいて検討し、ISEM校長他関係者の我が国への招聘等を通じて、両国で行った事前の調整により、日本及びモロッコ両国の討議議事録(R/D)、プロジェクト暫定実施計画(TSI)及びミニッツ(M/M)の原案が、ほぼ完成された状態で準備されていたため、モロッコにおいて行った政府等関係機関との討議では、文書そのものの内容について、若干の訂正を要したが、紛糾する問題はなかった。

そして、最終的に、上記の各文書に両国の代表者として、本調査団長及び船員訓練・職業促進局長がそれぞれ署名し、実施協議調査団としての所期の目的を達成することができた。

上記の各文書についての詳細な訂正箇所、質問事項等については、以下の各章に記述するが、この調査全体を通じての若干の感想をここに述べる。

(1) 本プロジェクトに関するモロッコ環境

1) 海運振興政策

事前調査団の報告書にも述べられているが、漁業・海運省モハメッド ラルバウイ船員訓練・職業促進局長、マルゴウイ海運局長他によれば、1996年度から始まるモロッコ経済振興諸政策のうちで、海運振興政策は最優先の政策の一つとして、1995年11月の議会で承認され、1996新年度から向こう4か年の計画で実施される予定とのことである。

このようなときに、日本の援助により、5年間のISEMプロジェクトが開始され、同国の船員教育のグレードアップを図ることは、同振興政策に弾みが付き意義深いことであるとのことである。

2) STCW条約の批准

懸案のSTCW条約の批准については、1996年3月に国王の直属機関である国家委員会（最高調査機関）が開始されることになっており、その折に署名されることとなっている。

(2) ISEMをめぐる状況

本調査団モロッコ到着時にラクサッシ事務長ほかISEMのスタッフが、カサブランカ空港への送迎に当たるなど、ルキリ校長始めスタッフ全員が、協議や校内施設の視察、或い

は懇親会の場を通じて、今回の調査団に対し非常な感謝と友好の気持を表明した。

今回のISEMプロジェクトの成功を、強く希望していることの現れであり、我が国を訪問して、日本人の接待の仕方を学び、とても参考になったと話すルキリ校長の感謝の気持の現れでもあったであろう。

校内の施設及び教育環境は極めて良く、船員実務教育のための設備がかなり整っているものと思われる。但し、練習船の視察は、今回実施しなかった。

校内施設の拡充では、やはり主機の設置が重点となると思われるが、基礎工事等付帯工事は、ISEM側では1996年度に実施したいとの希望であった。

(モロッコの会計年度の始まりが例年7月であり、1996年度の予算に主機の基礎工事費用を計上しているとのことであった。また、同国の財政状況は、その年の農業生産によるところが大きく、1996年は、春の雨量が多く財政事情は良いとの見通しであり、当プロジェクトの開始は、良い条件にあると思われる。)

同国では、アガディールの漁業援助を参考にしていると思われ、今後様々な場面で比較の対象となると思われるが、本調査でも、繰り返しプロジェクト方式技術協力と無償資金協力の違いを説明した。

モロッコ国内では、ISEMの出身者は、海運・船員・港湾全般にわたって中心的な存在であり、行政始め業界においても活躍中であるとのことで、更に一層の活躍が期待されている。

新たに開始される当プロジェクトは、機材の供与のほか船員教育のレベルアップが最も大切な目標であろう。カウンターパートの我が国への受入れを含め、このプロジェクトの成功を、船員の教育訓練に携わるものとして、大いに期待するものである。

次に本調査団対処方針及び調査結果を示す。

モロッコ高等海事学院プロジェクト実施協議調査団対処方針及び調査結果

JICA 社会開発協力部
社会開発協力第二課
平成 8 年 2 月 8 日

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査結果
1. 国家開発計画の中におけるプロジェクトの位置付け	<p>1988年以来、人材育成に高い優先順位を置いており、教育部門の充実で人的資源の質的向上を図り、職業訓練部門の拡充により技術指導者、熟練労働者を育成する政策が取られている。</p> <p>また国家開発計画となり得る投資奨励一般計画において、海事セクターに対する優遇政策を策定し、海事振興を推進する方針を打ち出している。</p>	<p>左記を確認する。 (長期調査員派遣時には、投資奨励一般計画が、9月25日から開催された特定政策委員会において取りまとめが行われており、11月頃開催予定の臨時国会に法案として提出されることになっていった。これは、次年度予算が執行になる1986年の7月1日までは採択、政令化させることを目的としていた。)</p>	<p>11月に承認済みであり、現在文書化作業中である。海事セクターに係る以下の4項目の政策に因り、1986年6月までに優先順位を決定し、5か年の政策を策定することとなった。</p> <p>①海運 ②沿岸漁船近代化 ③漁業公社組織改革・方針策定 ④国立海洋調査研究所設立</p>
2. ISEMの位置付け	<p>漁業・海運省の事務次官の外局の直属教育機関として位置付けられており、運営・管理に関しては、船員訓練・職業促進局が担当している。本学院は、同国唯一の上級船員教育機関であり、同国の上級船員のみならず海事セクター全般(省庁、港湾開発局、民間企業等)関係職員等を輩出している。</p> <p>また、招来計画として、</p> <p>①学院内にSTCW事務所の設立、 ②学院内に国立海事資料センターの設置、 ③研究・開発機関としての機能整備を計画中である。</p>	<p>本プロジェクトは、国際条約に則った訓練がISEMで実施されることを目標としている。したがって同国のSTCW批准手続きの進捗状況はプロジェクト実施上、重要なファクターとなり得る。長期調査員派遣時には、当該手続きは最終段階に達しており、國王の承認待ちという状況であった。その後の状況を確認する。</p>	<p>國王直属の最高調査機関の委員会が3月に開催され、國王の承認を受けるべく準備中である。</p>
3. ISEM機能	<p>同国の海事セクター発展に寄与するための</p> <p>①人材育成 ②教育・訓練水準の向上 ③訓練機材の充実 ④国際条約(特にSTCW条約)の分析 ⑤同国のニーズの分析・最適化 ⑥資料・情報整備</p>	<p>確認する。</p>	<p>確認した。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査結果
4. ISEM組織	<p>校長：Mr. LOUKILI Miloud 事務部長：Mr. LAKHSSASSI Kamel 教務部長：Mr. BAUDOT Jean Pierre 航海学科長：Mr. NAGUIB Abdelhak 機関学科長：Mr. BOUDDLAL El Mustapha 等、 総計119名</p>	<p>確認する。</p>	<p>確認した。</p>
5. 他組織との連携	<p>アガディールにおいて漁船乗組員を養成することを目指すとして設立された高等漁業技術学院があり、我が国は本学院に対しプロ技協を、第一期（昭和62年～平成4年）及び第二期（平成4年～）を支援しており、水産無償で供与された漁業練習船を始め、商船教育に利用可能な機材が整備されている。</p>	<p>長期調査員派遣時に、高等漁業技術学院を視察・確認したところISEM学生が利用可能な機材類（漁業練習船、エンジンシミュレータ、配電盤実習装置等）に関して、問題なく利用できることが確認されている。再度確認する。</p>	<p>同じ省庁の所管機関であるため、機材の相互利用に問題ない旨、確認した。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査結果
<p>6. プロジェクト実施について</p> <p>(1) プロジェクト名称</p>	<p>(1) 「高等海事学院」 英：The Higher for Maritime Studies 仏：L'Institute Supérieur D'Études Maritimes L'Institute (略称：ISEM)</p>	<p>(1) 確認する。</p>	<p>(1) 確認した。</p>
<p>(2) 協力機関</p>	<p>(2) 責任機関＝漁業・海運省 実施機関＝高等海事学院</p>	<p>(2) 確認する。</p>	<p>(2) 確認した。</p>
<p>(3) プロジェクト上位目標</p>	<p>(3) 「優秀な海軍関係者が確保され、モロッコ海軍セクターの発展に寄与する」</p>	<p>(3) 確認する。</p>	<p>(3) 確認した。</p>
<p>(4) プロジェクト目標</p>	<p>(4) 「国際訓練基準に即った訓練が、高等海事学院で実施される」</p>	<p>(4) 確認する。</p>	<p>(4) 確認した。</p>
<p>(5) プロジェクトの成果</p>	<p>(5) ① STCW条約の基準を満たし、同国のニーズに適合した船員教育方針が明確になる。 ② 適切なカリキュラム、教授マニュアル及び教科書が開発され、作成される。 ③ 教官が適切な専門性と教授能力を有する。 ④ 訓練コースのための適切な機材が確保される。 ⑤ 訓練機材が有効に活用され、十分に維持管理される。</p>	<p>(5) 5年間の協力期間を踏まえ具体的な活動成果を検討し、マスタクタープランに記載する。</p>	<p>(5) 検討し記載した。</p>
<p>(6) プロジェクトの活動</p>	<p>(6) ① STCW条約改正内容に合致した関連ニーズを分析する。 ② カリキュラム、教授マニュアル及び教科書を開発し、作成する。 ③ 教官の強化すべき専門分野を確認し、教官開発計画を立案し実施する。 ④ 訓練に必要な機材を整備する。 ⑤ 訓練機材の保守操作方法及び教育手法を移転する。</p>	<p>(6) 5年間の協力期間を踏まえ具体的な活動内容を検討し、マスタクタープランに記載する。</p>	<p>(6) 検討し記載した。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査結果
<p>7. 日本側の投入計画</p> <p>(1) 専門家の派遣</p>	<p>(1) 専門家の派遣</p> <p>* 長期専門家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーフ・アドバイザー ・業務調整員 ・船員教育(航海) ・船員教育(機関) <p>(注) チーフ・アドバイザーは船員教育(航海)または(機関)を兼務も考えられる</p> <p>* 短期専門家 必要に応じて</p>	<p>(1) * A1フォーラムの一括取付につきモロッコ側に説明及び提出依頼する。 * 専門家執務室の確保、整備を専門家の派遣に応じ準備するよう確認する。</p>	<p>(1) * 説明した。 * すでに準備されていた。</p>
<p>(2) 機材供与</p>	<p>(2) 以下の機材を供与する。</p> <p>* 航海科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船体構造模型(タンカー、コンテナ船、一般貨物船) ・安全用具(簡易検知器等) ・積荷計算機用ソフトウェア ・応急医療用具 ・気象観測実習装置 ・生存・消火訓練用具 ・荷役実習シミュレータ ・その他 <p>* 機関科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル・エンジン・プラント ・蒸気及びガスタービン・プラント(模型) ・各種ポンプ・カッターモデル ・制御油圧実習装置 ・その他 <p>* 各科共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門書籍及びビデオソフト ・草画 ・事務機器 ・その他 	<p>(2) * A4フォーラムの一括取付につきモロッコ側に説明及び提出依頼する。 * 長期調査員派遣時に、左記機材類の現地調査の可能性を調査し、妥当であると判断した。同可能性の再確認を行う。</p>	<p>(2) * 説明した。 * 確認した。</p>
<p>(3) 研修員受入れ</p>	<p>(3) 年間2名程度</p>	<p>(3) * A2-3フォーラムの提出につきモロッコ側に説明及び提出依頼する。 * 教官を中心に船員教育、先端技術、船員管理等の技術移転を実施する。</p>	<p>(3) * 説明した。 * 長期的には、海運、港湾などの分野に関する受入れの要請が出たため、今後の検討課題とした。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査結果
8. モロッコ側投入計画 (1) プロジェクト要員の配置	(1) 航海科：7名程度 機関科：7名程度 事務職員：10名程度	(1) ISEM専任職員の配置について、学歴、職歴、技術レベル、専門分野等、先方の計画を調査する。また、ISEMの活動規模に適切な人数の職員を配置するよう先方に要請する。	(1) 要請した。
(2) ISEM施設	(2) 機材設置に必要なスペース及び専門家執務室候補所は長期調査時に確認済み。	(2) *各候補場所の視察・確認 *オフィススペース、配置等の面でコメントあれば助言・指導を行う。	(2) *視察・確認した。 *エッジングプラットフォーム設置場所に関して、若干の手直しが必要である。
(3) ローカルコストの負担	(3) 必要なローカルコストの負担の必要性に付き説明済み。	(3) 再度モロッコ側の費用負担に付き今後の計画及び見通しと併せ確認する。	(3) 確認した。
9. プロジェクト管理体制	(1) プロジェクト総括責任者： 漁業・海運省、船員訓練・職業促進局長 2) プロジェクト運営責任者：ISEM校長	(1) 確認する。	(1) 確認した。
(2) 合同委員会	(2) 1) 機能 ・プロジェクト年間計画についての協議 ・年間計画の進捗状況確認 ・プロジェクトに係る主要な問題点等の協議等 2) 構成 ・議長：船員訓練・職業促進局長 ・メンバー： (モ側) ・船員訓練部長 ・ISEM校長 ・議長に指名された者 (日側) ・チーフアドバイザー ・業務調整員 ・専門家 ・必要に応じてJICAが派遣した者 ・JICAモロッコ事務所長 (・日本大使館員オブザーバー出席あり)	(2) メンバー等確認し、R/Dに記載する。	(2) 以下変更があった。 (モ側)：・船員訓練部長 ・生涯教育部長 ・国際協力・法務部長 ・ISEM校長 ・議長に指名された者

調査項目	現状及び問題点	対処方針	調査結果
<p>3) 開植時期 最遅年一回 双方の関係者を交えて開催する。</p> <p>(3) PDM 事前調査時に、PDMの概要について先方に説明し、本プロジェクトにおいても使用する予定である旨、説明済み。</p> <p>(4) 暫定実施計画 (TSI)</p> <p>(5) プロジェクト組織図</p> <p>(6) 協力期間</p> <p>(7) R/D署名者</p>	<p>1986年以來継続されていたフランスによる教官派遣・研修員受入れ等の技術協力は1989年で終了した。</p> <p>現在は、国連国際海事機関(IMO)の世界海事大学(WMU:スエーデン、マルメ市)の地域分校の一つに指定されており、モデルコースの実施等の支援を受けている。</p> <p>運輸省海上技術安全局船員部教育課を中心とし、国内関係機関(運輸省航海訓練所、運輸省海技大学校、商船大学、商船高等、海事国際協力センター等)による支援体制を確保しつつある。</p>	<p>(3) PDMについて再度先方関係者に説明するとともに、PDM案を提示・協議の上、最終案を作成し、R/Dに添付する。</p> <p>(4) 別紙TSI(案)にしたがい、先方と協議の上、最終案を作成し、双方署名する。</p> <p>(5) 組織図を確認の上、R/Dに添付する。</p> <p>(6) 1) 確認する。 2) 進捗状況を確認の上、R/Dにて確認・記載する</p> <p>(7) 確認する。 使用言語: 英語</p>	<p>(3) 添付した。</p> <p>(4) 署名した。</p> <p>(5) 添付した。</p> <p>(6) 1) 確認した。 2) 1996年4月1日とした。</p> <p>(7) 英語にて作成し、署名した。</p>
<p>10. 国際機関、第三国 協力機関との関係</p> <p>11. 国内支援体制</p>		<p>国内関係機関により支援体制を早期に確立し、専門家リクルート、研修員受入れ等に関し、検討する。</p>	

3. モロッコの船員行政

モロッコは1988年以来、人材育成に高い優先順位を置いており、教育部門の充実で人的資源の質的向上を図り、職業訓練部門の拡充により技術指導者、熟練労働者などを育成する政策が取られている。

また、国家開発計画となり得る投資奨励一般計画において、海事セクターに対する優遇政策を策定し、海事振興を推進する方針を打ち出している。本計画は1995年11月に議会で承認され、現在特定政策委員会により文書化作業中であり、海事セクターに係る以下の4項目の政策に関し、本年1996年6月までに優先順位を決定し、5か年の政策を策定することとなった。

- ・海運
- ・沿岸漁船近代化
- ・漁業公社組織改革・方針策定
- ・国立海洋調査研究所設立

更に、本件プロジェクトに密接に関連するSTCW条約批准に関しては、国王直属の最高調査機関の委員会が1996年3月に開催され、国王の承認を受けることになっている。

船員政策に関する詳細は、事前調査及び長期調査報告にあるとおりであり、海事振興策が着実に進捗していることは、相手側の本分野に対する熱意の表われであると思われる。

また、ISEMにおいて船員としての教育を受けた人材は、船員としてのみならず、海事セクターの陸上職の中核管理職員としても重要視しており、海運局でも、海運、港湾、海上保安などの多岐にわたる海事セクターの水準向上の原動力となると捉えている。

4. 討議議事録の交渉経緯

4-1 交渉経緯

事前調査及び長期調査結果を踏まえて、討議議事録（以下、R/Dと略す）、暫定実施計画（以下、TSIと略す）及びミニッツ（以下、M/Mと略す）の案を作成し、本調査団派遣前に、モロッコ側に事前に提示し、内容の検討・確認を依頼していた。したがって主要な内容に関しては、問題はなく原案どおりとした。

協議の中でM/Mの附属文書の「Ⅲ. 1996年予算年度（日本）におけるプロジェクト実施スケジュール」の「2. 機材供与」において、1997年度（日本）以降のJICAにより供与される機材の仕様が決定されるとあるが、それ以外には機材供与に関しては活動はないのかという質問が出た。その理由は、すでにモロッコ側は1996年6月末が支出期限である1995年度予算でエンジンプラント準備工事用の予算を取っており、1996年6月末までに準備工事を開始したいとのことであった。しかし、当該工事は、機材入札終了後、機材の設置図面が供給されてからでないと実施できないため、本予算は別の目的に使用し、新規に1996年7月以降に実施する工事費用の予算取りを依頼した。実際には、1996年4月に専門家が着任してからは、供与機材の仕様書の検討、カリキュラムの検討及び指導要領の作成などを実施することで合意した。

また、プロジェクトの組織図に若干の変更を加え、合同委員会のモロッコ側のメンバーを増員した。

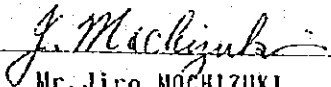
THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE KINGDOM OF MOROCCO
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE HIGHER INSTITUTE FOR MARITIME STUDIES PROJECT

The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Jiro MOCHIZUKI, visited the Kingdom of Morocco for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Higher Institute for Maritime Studies Project in the Kingdom of Morocco.

During its stay in the Kingdom of Morocco, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Moroccan authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Moroccan authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Rabat, January 17, 1996



Mr. Jiro NOCHIZUKI
Leader,
Implementation Study Team,
Japan International
Cooperation Agency (JICA),
Japan



Mr. Mohamed RHARBAOUI
Director of Maritime Training,
Social and Professional Promotion,
Ministry of Marine Fisheries and
Merchant Marine,
Kingdom of Morocco

THE ATTACHED DOCUMENT

I . COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the Kingdom of Morocco will implement the Higher Institute for Maritime Studies Project (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I .

II . MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through JICA according to the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II .

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III . The Equipment will become the property of the Government of the Kingdom of Morocco upon being delivered C.I.F. to the Moroccan authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

3. TRAINING OF MOROCCAN PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will receive the Moroccan personnel connected with the Project for technical training in Japan.

III . MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE KINGDOM OF MOROCCO

1. The Government of the Kingdom of Morocco will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through the full and active involvement in the Project by

J.M.

AKC

all related authorities, beneficiary groups and institutions.

2. The Government of the Kingdom of Morocco will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Moroccan nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Kingdom of Morocco.
3. The Government of the Kingdom of Morocco will grant in the Kingdom of Morocco privileges, exemptions and benefits as listed in Annex IV and will grant privileges, exemptions and benefits no less favourable than those granted to experts of third countries or international organizations performing similar missions to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Government of the Kingdom of Morocco will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.
5. The Government of the Kingdom of Morocco will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Moroccan personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Morocco, the Government of the Kingdom of Morocco will take necessary measures to provide at its own expense :
 - (1) Services of the Moroccan counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex V ;
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex VI ;
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided through JICA under II-2 above ;
 - (4) Means of transport and travel allowances for the Japanese experts for official travel within the Kingdom of Morocco ;

J.M.

ML

- (5) Suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.

7. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Morocco, the Government of the Kingdom of Morocco will take necessary measures to meet :

- (1) Expenses necessary for the transportation within the Kingdom of Morocco of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof ;
- (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in the Kingdom of Morocco on the Equipment referred to in II-2 above;
- (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Director of Maritime Training, Social and Professional Promotion, Ministry of Marine Fisheries and Merchant Marine, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The Director of the Higher Institute for Maritime Studies, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Moroccan counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VII.

JM

Li

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Moroccan authorities concerned. (at the middle and) during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Kingdom of Morocco undertakes to bear claims, if any arise, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with discharge of their official functions in the Kingdom of Morocco except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING AND SUPPORT TO THE PROJECT

For the purpose of promoting the support of the people of the Kingdom of Morocco to the Project, the Government of the Kingdom of Morocco will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Kingdom of Morocco.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five(5) years from April 1, 1996.

J.M.

J.S.

ANNEX I MASTER PLAN

1. Objectives of the Project

(1) Overall Goal:

To contribute to the development of the Moroccan maritime sector in general through the supply of better qualified personnel.

(2) Project Purpose:

To improve training levels in the field of Seamen's Education (Marine Navigation and Engineering) at the Higher Institute for Maritime Studies (hereinafter referred to as "ISEM"), in compliance with international training standards.

2. Outputs of the Project

- (1) A clear policy on the future training, including preparation for the revision of STCW Convention, is to be laid.
- (2) Training curriculum is to reflect technological innovation both in practice and theory.
- (3) Sufficient practical training of students is to be provided.
- (4) Sufficient upgrading training is to be provided.
- (5) Instructors are to have proper specializations and better teaching abilities.
- (6) Training related to GMDSS is to be undertaken.
- (7) Appropriate machinery and equipment for the training courses are to be secured.

3. Activities of the Project

- (1) a. To analyze the existing courses and the current situation in general of the ISEM in the light of the Project purpose.
b. To formulate a master plan which serves as a comprehensive plan of activities.
- (2) a. To review the present training curriculum and clarify what is lacking in the light of technological innovation.
b. To revise the training curriculum accordingly.
- (3) a. To clarify what kind of curriculum, teaching manuals, textbooks, facilities and equipment are necessary.
b. To revise the curriculum, teaching manuals and textbooks for practical training in general.

J.M.

A.C.

- c. To conduct practical training based on the new curriculum.
 - d. To make a detailed and standardized curriculum of sea training.
 - e. To conduct sea training based on the new curriculum.
- (4) a. To clarify what kind of curriculum, teaching manuals, textbooks and facilities and equipment are necessary.
- b. To revise the curriculum, teaching manuals and textbooks.
 - c. To conduct upgrading training based on the new curriculum.
- (5) a. To clarify what kind of instructor specializations are to be strengthened.
- b. To formulate and implement a concrete staff development plan.
- (6) a. To make proper training materials such as curriculum, teaching manuals and textbooks.
- b. To conduct training related to GNDSS.
- (7) a. To design the arrangement of the machinery and equipment.
- b. To prepare the workshop for installation.
 - c. To conduct the installation works.
 - d. To have practical training on operation and maintenance.

JM

11/5

ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Chief Advisor

2. Long-term experts in the fields of :

- (1) Seamen's Education (Marine Navigation)
- (2) Seamen's Education (Marine Engineering)

3. Coordinator

4. Short-term experts

Note: (1) The Chief Advisor may concurrently be either the Expert on Seamen's Education (Marine Navigation) or the Expert on Seamen's Education (Marine Engineering).

(2) Short-term experts will be dispatched as necessary for the smooth implementation of the Project.

J.M.

J.S.

ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Marine Navigation

- (1) Hull construction models (tanker, container carrier, general cargo carrier)
- (2) Safety equipment (Oxygen detector and others)
- (3) Software for loading calculator
- (4) First aid equipment for artificial respiration training
- (5) Training equipment for meteorological observation
- (6) Survival and firefighting equipment (cut model of extinguishers, life raft, self contained breathing apparatus, etc.)
- (7) Cargo handling simulator (Tanker operation)
- (8) Other necessary machinery and equipment to be mutually agreed upon.

2. Marine Engineering

- (1) Diesel engine plant
- (2) Models of steam turbine plant and gas turbine plant
- (3) Cut models of various types of pumps
- (4) Hydraulic system teaching material
- (5) Other necessary machinery and equipment to be mutually agreed upon.

3. General

- (1) Technical books and video software
- (2) Vehicle(s)
- (3) Other necessary machinery and equipment to be mutually agreed upon.

Note : The contents and specifications of the Equipment to be provided in each year will be discussed, in principle, every year between the Japanese experts and the Moroccan counterpart personnel based on the annual plan within the allocated budget of each Japanese fiscal year.

J.M.

A.S.

ANNEX IV PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS

1. Exemption from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad;
2. Exemption from import and export duties and any other charges imposed in respect of personal and household effects (including one vehicle) which may be brought into the Kingdom of Morocco;
3. Free medical and dental services and facilities at Governmental hospitals and health centers.
4. Issue of identification cards to the Japanese experts, to secure the cooperation of the authorities concerned of the Kingdom of Morocco necessary for the performance of the duties of the Japanese experts, and their families.

J.M.

llc

ANNEX V LIST OF MOROCCAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Counterpart personnel in the fields of :

- (1) Seamen's Education (Marine Navigation) at least seven (7) persons
- (2) Seamen's Education (Marine Engineering) at least seven (7) persons

2. Administrative personnel

- (1) Administration staff
- (2) Accounting staff
- (3) Bilingual secretary (French and English)
- (4) Staff for equipment maintenance
- (5) Drivers
- (6) Guards
- (7) Other staff

J.M.C.

ALC.

ANNEX VI LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land, buildings and facilities of the ISEM for the Project.
2. Room and space necessary for installation and storage of the Equipment in the buildings of the ISEM.
3. Office space with air conditioner and necessary facilities for the Japanese experts in the buildings of the ISEM.
4. Other facilities mutually agreed upon as necessary.

J.M.C.

W.C.

ANNEX VII JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year and whenever the necessity arises, and work:

- (1) To formulate the Annual Work Plan of the Project under the framework of this Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation program as well as the achievements of the above-mentioned Annual Work Plan;
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the technical cooperation program.

2. Composition

(1) Chairperson:

Director of Maritime Training, Social and Professional Promotion,
Ministry of Marine Fisheries and Merchant Marine

(2) Members:

Moroccan side :

- a. Responsible for Initial Maritime Training
- b. Responsible for Continuing Training, Social and Professional Promotion
- c. Representative of Direction of International Cooperation and Legal Affairs
- d. Director of the ISEM
- e. Other counterpart personnel designated by the chairperson

Japanese side :

- a. Chief advisor
- b. Coordinator
- c. Other Japanese experts
- d. Personnel concerned with the Project to be dispatched by JICA, if necessary
- e. Representative of JICA Morocco Office

Note : Official(s) of the Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee as observer(s).

J.M.

JLS

(2) TSI

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION
FOR
THE HIGHER INSTITUTE FOR MARITIME STUDIES PROJECT
IN THE KINGDOM OF MOROCCO

The Japanese Implementation Study Team and the Moroccan Authorities concerned have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation of the Project as annexed hereto.

This has been formulated in line with the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Japanese Implementation Study Team and the Moroccan Authorities concerned for the Project, on condition that the necessary budget will be allocated for the implementation of the Project by both sides, and that the schedule is subject to change within the framework of the Record of Discussions when such need arises in the course of the Project's implementation.

Rabat, January 17, 1996



Mr. Jiro MOCHIZUKI


Leader

Implementation Study Team

Japan International

Cooperation Agency (JICA).

Japan



Mr. Mohamed RHARBAOUI

Director of Maritime Training.

Social and Professional Promotion.

Ministry of Marine Fisheries and

Merchant Marine.

Kingdom of Morocco

(3) M/M


THE MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE KINGDOM OF MOROCCO
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE HIGHER INSTITUTE FOR MARITIME STUDIES PROJECT
IN THE KINGDOM OF MOROCCO


The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Jiro NOCHIZUKI, visited the Kingdom of Morocco from January 9 to January 18, 1996, for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Higher Institute for Maritime Studies Project in the Kingdom of Morocco.

During its stay in the Kingdom of Morocco, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Moroccan authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Moroccan authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Rabat, January 17, 1996


Mr. Jiro NOCHIZUKI
Leader
Implementation Study Team
Japan International
Cooperation Agency (JICA),
Japan


Mr. Mohamed RHARBAOUI
Director of Maritime Training,
Social and Professional Promotion,
Ministry of Marine Fisheries and
Merchant Marine,
Kingdom of Morocco

THE ATTACHED DOCUMENT

I. PROJECT MANAGEMENT

1. Project Design Matrix

The Team explained the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") which is going to be commonly introduced into Japanese project-type technical cooperation in order to carry out project management planning, implementation and evaluation clearly, efficiently and effectively.

As a result of discussions, both sides agreed to apply the PDM, attached in ANNEX I, to the Project, with the following understandings.

- (1) The PDM is a logically designed matrix which defines the initial understandings of the framework of the technical cooperation for the Project and indicates the logical steps toward the achievement of the Project Purpose.
- (2) The PDM is to be flexibly developed according to the progress and achievements of the agreement between the Japanese and the Moroccan sides.
- (3) In order to review the progress of the activities stipulated in the PDM, the PDM is to be accompanied by a Plan of Operations (hereinafter referred to as the "PO") that contains information necessary to conduct the activities such as, due date, personnel assignment and anticipated inputs.

2. Plan of Operations

The Team explained to the Moroccan side that the PO would be formulated in cooperation with the experts.

3. Organization chart of the Project

The Team explained the organization chart of the Project for the implementation of the Project which is attached as ANNEX II.

J.M.

N/C

II. MATTERS DISCUSSED THROUGH THE MEETINGS

1. Counterpart personnel

Both sides agreed that counterpart personnel would be appointed that met the following criteria.

- (1) full-time and permanent instructors in the Higher Institute for Maritime Studies (hereinafter referred to as "ISEM")
- (2) Have a good command of English
- (3) Have three(3) years experience in teaching as an instructor at a maritime institute or the equivalent

The Ministry of Marine Fisheries and Merchant Marine agreed to take necessary measures to keep counterpart personnel in their position for at least two(2) years from the initial date of their assignment as counterpart personnel and also two(2) years after the technical training in Japan.

2. Schedules concerning machinery, equipment and office space for the experts

Both sides worked out the introduction schedule of machinery and equipment and the preparation schedule of office space for the experts, which are attached as ANNEX III, and agreed that these schedules will be included as part of the PO.

3. Suitably furnished accommodation

The Team recognized that the Moroccan side would make the necessary arrangements for the accommodation of the experts.

4. Cooperation with the Institute of Technology for Marine Fisheries

The Team reconfirmed that the Moroccan side will take necessary measures to cooperate with the Institute of Technology for Marine Fisheries in AGADIR for the joint utilization of the following equipment so as to assist the activity of the Project.

- (1) Training ship
- (2) Diesel engine simulator
- (3) Switchboard Trainer

III. IMPLEMENTATION SCHEDULE FOR THE PROJECT IN JAPANESE FISCAL 1996

1. Dispatch of the experts

Chief advisor, two(2) long-term experts in the fields of Seamen's Education (Marine Navigation) and Seamen's Education (Marine Engineering) and the coordinator will be dispatched in due time.

Note: The Chief Advisor may concurrently be either the Expert on Seamen's Education (Marine Navigation) or the Expert on Seamen's Education (Marine Engineering).

2. Provision of the Equipment

Specifications of the Equipment to be provided by JICA in Japanese fiscal 1997 and onwards will be fixed.

3. Training Moroccan personnel in Japan

Two(2) personnel will be accepted.

J.M.

JICA

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal</p> <p>To contribute to the development of the Moroccan maritime sector in general through the supply of better qualified personnel.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Increased level of shipping Companies' interest in recruiting ISEM graduates. 2. Number of certificates (both in and outside the ISEM) given to re-trainees. 3. Number of re-trainees who complete upgrading training. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Record of improvement committee of survey 2. Record of ISEM 3. Record of ISEM 	<ol style="list-style-type: none"> 1. The maritime sector continues to be attractive for graduates.
<p>Project Purpose</p> <p>To improve training levels at the ISEM in compliance with international training standards.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 Annual evaluation of trainees' performance during training. 1.2 Assessment of students' performance at the time of sea training. 2. Number of courses of upgrading training. 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 -Results of examination 1.2 -Survey 2. List of courses of upgrading training 	<ol style="list-style-type: none"> 1. The economic situation related to the Maritime sector does not deteriorate. 2. The STCW Convention will be ratified by Morocco in the near future. 3. International training standards will not change drastically.
<p>Outputs</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A clear policy on future training, including preparation for the revision of STCW Convention, is to be laid. 2. Training curriculum is to reflect technological innovation both in practice and theory. 3. Sufficient practical training of students is to be provided. 4. Sufficient upgrading training is to be provided. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. A comprehensive plan of activities consisting of components of personnel (students, instructors and administrative staff), curriculum, facilities and equipment. 2. Revised training curriculum 3.1 -Detailed and standardised curriculum of sea training to be provided to and used by sea training instructors. 3.2 -Revised or improved training elements (curriculum, teaching manuals, textbooks, facilities and equipment). 4. Revised or improved training elements (curriculum, teaching manuals, textbooks, facilities and equipment). 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Document of plan in ISEM 2. Document of curriculum 3.1 -Document of curriculum 3.2 -List of training elements 4. List of training elements 	<ol style="list-style-type: none"> 1. A sufficient number of applicants for admission to the ISEM is maintained.

<p>5. Instructors are to have proper specializations and better teaching abilities.</p> <p>6. Training related to GMDSS is to be undertaken.</p> <p>7. Appropriate machinery and equipment for the training courses are to be secured.</p>	<p>5. Number of properly qualified instructors in each specialization</p> <p>6. Practice of training related to GMDSS.</p> <p>7. Improved training contents.</p>	<p>5. Detailed list of instructors</p> <p>6. Document of curriculum which shows the practice of training related to GMDSS</p> <p>7. Training Record</p>	<p>1. Counterpart personnel who receive technology transfer remain in ISEM.</p>
<p>5. Instructors are to have proper specializations and better teaching abilities.</p> <p>6. Training related to GMDSS is to be undertaken.</p> <p>7. Appropriate machinery and equipment for the training courses are to be secured.</p>	<p>5. Number of properly qualified instructors in each specialization</p> <p>6. Practice of training related to GMDSS.</p> <p>7. Improved training contents.</p>	<p>5. Detailed list of instructors</p> <p>6. Document of curriculum which shows the practice of training related to GMDSS</p> <p>7. Training Record</p>	<p>1. Counterpart personnel who receive technology transfer remain in ISEM.</p>
<p>5. Instructors are to have proper specializations and better teaching abilities.</p> <p>6. Training related to GMDSS is to be undertaken.</p> <p>7. Appropriate machinery and equipment for the training courses are to be secured.</p>	<p>5. Number of properly qualified instructors in each specialization</p> <p>6. Practice of training related to GMDSS.</p> <p>7. Improved training contents.</p>	<p>5. Detailed list of instructors</p> <p>6. Document of curriculum which shows the practice of training related to GMDSS</p> <p>7. Training Record</p>	<p>1. Counterpart personnel who receive technology transfer remain in ISEM.</p>

Inputs (Japanese side)

1. Dispatch of experts
 - (1) Chief Advisor
 - (2) Coordinator
 - (3) Expert on Seamen's Education (Marine Navigation)
 - (4) Expert on Seamen's Education (Marine Engineering)

Short term experts
2. Training of counterparts in Japan
 - Several persons per year
3. Provision of equipment
 - (Navigation)
 - * Hull construction models
 - * Safety equipment
 - * Software for Loading Calculator
 - * First aid equipment
 - * Meteo-observation Tool
 - * Survival & firefighting equipment
 - * Cargo handling simulator
 - * Others
 - (Engineering)
 - * Diesel engine plant
 - * Steam & gas turbine. plant(model)
 - * Cut models of pumps
 - * Hydraulic system teaching material
 - * Others
 - (General)
 - * Technical books
 - * Vehicle(s)
 - * Others

Inputs (Moroccan side)

1. Assignment of counterparts
2. Assignment of administrative personnel
3. Land, buildings and facilities
4. Expenses necessary for the implementation of the Project

Pre-conditions

1. The equipment is transported from Japan to Morocco smoothly.
2. Shipping companies continuously give support to the ISEM for its sea training.

J.Mr.

PLG

(5) To have sea training instructors to conduct training based on the new curriculum

4. (1) To clarify what kind of curriculum, teaching manuals, textbooks and facilities and equipment are necessary.
(2) To revise the curriculum, teaching manuals and textbooks.
(3) To conduct upgrading training based on the new curriculum.

5. (1) To clarify what kind of instructor specializations to be strengthened.
(2) To formulate and implement a concrete staff development plan.

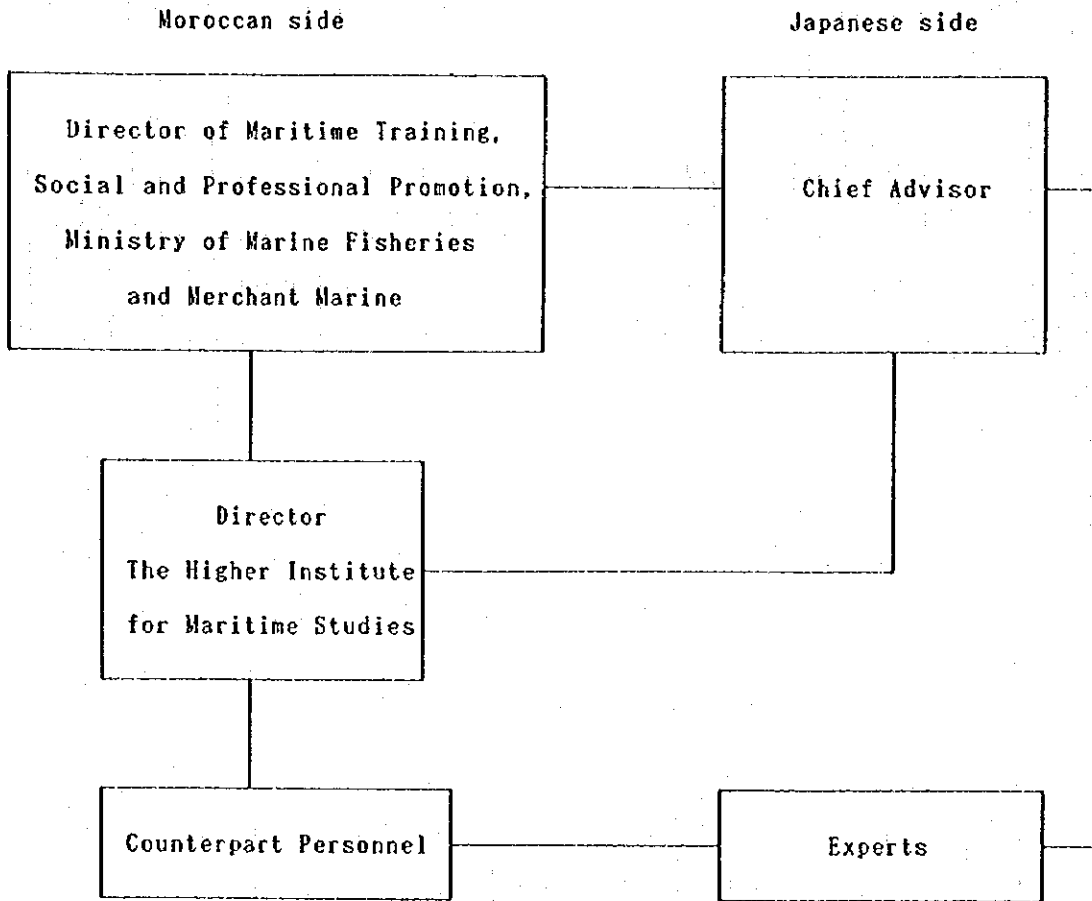
6. (1) To make proper training materials such as curriculum, teaching manuals and textbooks.
(2) To conduct training related to GMDSS.

7. (1) To design the arrangement of the machinery and equipment.
(2) To prepare the workshop for installation.
(3) To conduct the installation works.
(4) To have practical training on operation and maintenance.

RVG

ANNEX II

ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT



J.M.

W.S.

PLAN OF OPERATION FOR THE WHOLE PERIOD

Activities	Target	Schedule				Person responsible in the Project Team	Inputs*	Remarks
		1996 I II III IV	1997 I II III IV	1998 I II III IV	1999 I II III IV			
1.1 To analyze the existing courses and the current situation in general of the ISEM in the light of the project purpose. 1.2 To formulate a master plan which serves as a comprehensive plan of activities.	Master plan : 1 set	~	~	~	~	Director Chief Advisor	Chief Advisor Heads of Dept. Long Term Experts	
2.1 To review the present training curriculum and clarify what is lacking in the light of technological innovation. 2.2 To revise the training curriculum accordingly.	Revised training curriculum : 1 set	~	~	~	~	Director Chief Advisor	Chief Advisor Heads of Dept. Long Term Experts	
3.1 To clarify what kind of curriculum, teaching manuals, textbooks and facilities and equipment are necessary. 3.2 To revise the curriculum, teaching manuals and textbooks for practical training in general. 3.3 To conduct practical training based on the new curriculum. 3.4 To make a detailed and standardized curriculum of sea training. 3.5 To have sea training instructors conduct training based on the new curriculum.	No. of curriculum, teaching manual, textbook : 1 set/course No. of trainee ISEM training : sea training :	~	~	~	~	Director Chief Advisor	Chief Advisor Heads of Dept. Long Term Experts Instructors	Training at ISEM : from 1996 Sea Training : from 1999
4.1 To clarify what kind of curriculum, teaching manuals, textbooks, facilities and equipment are necessary. 4.2 To revise the curriculum, teaching manuals and textbooks. 4.3 To conduct upgrading training based on the new curriculum.	No. of curriculum, teaching manual, textbook : 1 set/course No. of course : 2 weeks X 14 times/yr	~	~	~	~	Director Chief Advisor	Chief Advisor Heads of Dept. Long Term Experts Instructors	
5.1 To clarify what kind of instructor specializations are to be strengthened. 5.2 To formulate and implement a concrete staff development plan.	No. of short term experts /yr No. of C/P training in Japan /yr	~	~	~	~	Director Chief Advisor	Chief Advisor Heads of Dept. Long Term Experts Short Term Experts Instructors	
6.1 To make proper training material such as curriculum, teaching manuals and textbooks 6.2 To conduct training related to GWDSS	No. of curriculum, teaching manual, textbook : 1 set/co. No. of course : 3 weeks X 4 times/yr	~	~	~	~	Director Chief Advisor	Short Term Experts Instructors	
7.1 To design the arrangement of the machinery and equipment. 7.2 To prepare the space for installation. 7.3 To conduct the installation works. 7.4 To have practical training on operation and maintenance.	Refer to the detailed plan	~	~	~	~	Director Chief Advisor	Long Term Experts Head of Dept. Instructors Necessary Machinery and Equipment	The Diesel Engine Plant will be installed by Aug. 1997.

* Person, equipment and other input necessary for implementing the activities

(4) 参加者リスト

LIST OF PARTICIPANTS

(Japanese side)

The Implementation Study Team

1. Mr. Jiro MOCHIZUKI
Leader
2. Mr. Ken TOKOI
Seamen's Policy
3. Mr. Masaya OMAE
Seamen's Education (Marine Navigation)
4. Mr. Naoki HAMADA
Seamen's Education (Marine Engineering)
5. Mr. Hiroyuki UEEDA
Cooperation Planning
6. Mr. Hitsuho KANAZAWA
Interpreter

Embassy of Japan, Morocco

7. Mr. Hisanobu HASAMA
First Secretary

JICA Office, Morocco

8. Mr. Hiroki EBARA
Director
9. Mr. Haddou HROUCH
Deputy Director
10. Ms. Kiyomi TOMIDA
Assistant Resident Representative

JM

11/15

(Moroccan side)

Ministry of Marine Fisheries and Merchant Marine

1. Mr. Mohamed RHARBAOUI
Director of Maritime Training, Social and Professional Promotion
2. Mr. Abdelkadir RAFIKY
Head of Initial Maritime Training Division
3. Mr. Ahmed EL KOUHEN
Head of Continuing Training, Social and Professional Promotion Division
4. Ms. Meryem HROUCH
Head of Legal Affairs Division
5. Mr. Azzeddine BELRHAZI
Departmental Manager of Co-operation Projects Follow-up
6. Mr. Mohiydine MOUDDEN
Chief of Technical Department
7. Mr. Brahim BOUDINAR
Director of C. Q. P. M. of Casablanca
8. Mr. Iwao ONO
Expert in Maritime Training

Ministry of Foreign Affairs and Cooperation

9. Mr. Youssef BENTIBA
Chief of Cooperation Department with the Asian and Oceanian countries

The Higher Institute for Maritime Studies

10. Mr. Milloud LOUKILI
Director
11. Mr. Jean Pierre BAUDOT
Director of Studies
12. Mr. Abdelhak NAGUIB
Head of Deck Department
13. Mr. El Mostapha BOUDAL
Head of Engine Department
14. Mr. Ali BERNI
Teacher at Deck Department
15. Mr. El hadj BENLAKHOUY
Teacher at Engine Department



4-3 討議議事録等の訳文

モロッコ高等海事学院プロジェクトに対する
日本の技術協力に関する
実施協議調査団と
モロッコ王国政府関係者との
討議議事録

JICAによって組織され、望月 二郎氏を団長とする実施協議調査団は、モロッコ王国の「モロッコ高等海事学院プロジェクト」に関する技術協力計画の詳細を策定するため、モロッコ王国を訪問した。

モロッコ王国滞在中、調査団は上記プロジェクトの有効な実施のために両国政府が取るべき必要な措置についてモロッコ王国政府関係者と意見を交換し、一連の討議を行った。

討議の結果、調査団とモロッコ王国政府関係者は、それぞれの政府に対し、附属文書に記載する諸事項について、勧告することに同意した。

ラバト、1996年1月17日

望月 二郎
国際協力事業団
実施協議調査団 団長

モハメッド ラルバウイ
モロッコ王国 漁業・海運省
船員訓練・職業促進局長

附属文書

I 両国政府間の協力

1. モロッコ王国政府は、日本国政府の協力によりモロッコ高等海事学院プロジェクト（以下プロジェクトと略す）を実施する。
2. プロジェクトは、別添Ⅰに定められたマスタープランに従って実施される。

II 日本政府の取るべき措置

日本国政府は、日本国において施行されている法律と規則に従い、日本国政府の負担で技術協力の通常の手続きに基づき、JICAを通じ以下の措置を取る。

1. 日本人専門家の派遣

日本国政府は、別添Ⅱに掲げられている日本人専門家の役務を提供する。

2. 機材の供与

日本国政府は、別添Ⅲに掲げるプロジェクトの実施に必要な資材・機材を供与する。資機材は、陸揚げされた港もしくは空港において、モロッコ政府関係機関にCIF建てで引き渡された時点で、モロッコ王国の財産となる。

3. 研修員受入れ

日本国政府は、日本国における技術研修のためプロジェクトに関係するモロッコ側研修員を受入れる。

III モロッコ王国政府の取るべき措置

1. モロッコ王国政府は、あらゆる関係当局、受益者グループ及び機関による本プロジェクトへの全面的かつ積極的な参加を通じて、日本の技術協力の期間中及びその後についても、プロジェクトの自立した活動を維持するため必要な措置を講ずる。
2. モロッコ王国政府は、日本の技術協力の結果として、モロッコ国民が獲得する技術と知識がモロッコ王国の経済、社会的発展に寄与することを保証する。
3. モロッコ王国政府は、別添Ⅳに掲げたモロッコ王国での特権、免除事項及び便宜、ならびに同様な活動を行っている第三国又は国際機関の専門家に対して供与しているものと同等の特権、免除事項及び便宜を上記Ⅱ-1. に掲げた日本人専門家とその家族に対し供与する。
4. モロッコ王国政府は、別添Ⅱに掲げられた日本人専門家と協議に基づき、上記Ⅱ-2. に掲げた機材がプロジェクトの実施のため有効に用いられることを保証する。
5. モロッコ王国政府は、モロッコ人が日本における技術研修から得た知識及び経験がプロジェクトの実施のため、有効に用いられることを保証するため必要な措置を取る。
6. モロッコ王国で施行されている法律と規則に従い、モロッコ王国政府は自己の負担により、以下の事項の提供に必要な措置を取る。
 - (1) 別添Ⅴに掲げられているモロッコ人カウンターパート及び事務職員の役務
 - (2) 別添Ⅵに掲げられている土地、建物及び施設
 - (3) JICAを通じて供与される上記Ⅱ-2. に掲げた機材以外でプロジェクトの

実施に必要な機械、装置、器具、車両、工具、補充部品及びその他の資材の調達もしくは交換

(4) 日本人専門家のモロッコ王国内における公務出張に係る移動手段及び出張旅費

(5) 日本人専門家とその家族に対する適当な家具付き住居施設

7. モロッコ王国で施行されている法律と規則に従い、モロッコ王国政府は以下の経費を支出するため必要な措置を取る。

(1) 上記II-2. に掲げた機材のモロッコ王国内での輸送及び同機材の据え付け、操作、維持に必要な経費

(2) 上記II-2. に掲げた機材に対してモロッコ王国内で賦課される関税、国内税及びその他の課徴金

(3) プロジェクトの実施に必要な運営経費

IV プロジェクトの管理

1. 漁業・海運省の船員訓練・職業促進局長は、プロジェクト総括責任者として、プロジェクトの総括的な管理と実施について全般的責任を負う。

2. 高等海事学院校長は、プロジェクト運営責任者として、プロジェクトの運営と技術的な事柄について責任を負う。

3. 日本人チーフ・アドバイザーは、プロジェクトの実施に関するあらゆる事柄について、プロジェクト総括責任者及びプロジェクト運営責任者に必要な勧告及び助言を与える。

4. 日本人専門家はプロジェクトの実施に関する技術的な事柄について、モロッコ人カウンターパートに必要な技術的指導及び助言を与える。

5. プロジェクトに関して効果的及び成功裏に技術協力を実施するため、別添VIIに記載される機能と構成を持つ合同委員会が設置される。

V 合同評価

プロジェクトの達成レベルを調査するため、協力期間終了6か月前（中間点と）に、JICAとモロッコ側関係者を通じて両国政府合同でプロジェクト評価を実施する。

VI 日本人専門家に対する請求

モロッコ王国政府は、プロジェクトのための技術協力に従事している日本人専門家のモロッコ国内における職務の遂行に起因する、またはその遂行中に発生する、もしくは職務上の免責事項に関して、日本人専門家に対する請求が生じた場合には、日本人専門家のまたは重大な過失により生じた場合を除き、その請求に関する責任を負う。

VI 相互協議

両国政府は、本附属文書から生ずる、あるいは本附属文書に関する主要事項について相互協議を行うことがある。

VII プロジェクトに対する理解と支援の促進

プロジェクトに対するモロッコ王国国民の支援を促進するため、モロッコ王国政府はプロジェクトをモロッコ王国国民に広く知らせる適切な措置を取る。

IX 協力期間

本附属文書に基づくプロジェクトの技術協力期間は、1996年4月1日から5年間とする。

別添 I マスタープラン

1. プロジェクトの目標

(1) 上位目標

優秀な海事関係者が確保され、モロッコ海事セクターの発展に寄与する。

(2) プロジェクト目標

国際訓練基準に則った船員教育（航海）及び（機関）分野の訓練が、高等海事学院で実施される。

2. プロジェクトの成果

(1) STCW条約の基準を満たし、同国のニーズに適合した船員教育方針が明確になる

(2) 訓練カリキュラムが、実習及び理論双方の技術改革に反映される。

(3) 適切な実習訓練が確保される。

(4) 適切な向上訓練が確保される。

(5) 教官が適切な専門性と教授能力を有する。

(6) GMDSS関連訓練が実施される。

(7) 訓練コースのための適切な機材が確保される。

3. プロジェクトの活動

(1) a. プロジェクト目標に沿って、ISEMにおける現在のコースと現状を分析する。

b. 包括的活動計画であるマスタープランを実行する。

(2) a. 現在の訓練カリキュラムを見直し、技術革新に不足している事項を明確にする。

b. 訓練カリキュラムを改正する。

(3) a. 必要なカリキュラム、教授マニュアル、教科書、施設及び機材を明確にする。

b. 実習訓練のためのカリキュラム、教授マニュアル及び教科書を改正する。

c. 新カリキュラムに沿って実習訓練を実施する。

d. 詳細で、標準的な乗船実習カリキュラムを策定する。

e. 新カリキュラムで乗船実習を実施する。

(4) a. 必要なカリキュラム、教授マニュアル、教科書、施設及び機材を明確にする。

b. カリキュラム、教授マニュアル及び教科書を改正する。

c. 新カリキュラムに沿って、向上訓練を実施する。

(5) a. 強化されるべき教官の専門分野を明確にする。

b. スタッフ能力向上計画を立案し、実施する。

(6) a. カリキュラム、教授マニュアル及び教科書などの適切な訓練資料を作成する。

b. GMDSS関連訓練を実施する。

(7) a. 機材の構成を設計する。

b. 設置のための実習室の準備をする。

c. 設置作業を実施する。

d. 運用・維持管理のための実技訓練を実施する。

別添 Ⅱ 日本人専門家リスト

1. チーフ・アドバイザー

2. 長期専門家

(1) 船員教育（航海）

(2) 船員教育（機関）

3. 業務調整員

4. 短期専門家

注： (1) チーフ・アドバイザーは、船員教育（航海）または船員教育（機関）を兼任する場合もあり得る。

(2) 短期専門家は、プロジェクトの円滑な実施の必要に応じて派遣される。

別添 III 機材リスト

1. 航海科用機材

- (1) 船体構造模型（タンカー、コンテナ船、一般貨物船）
- (2) 安全用具（酸素検知器など）
- (3) 積荷計算機用ソフトウェア
- (4) 応急医療用具
- (5) 気象観測実習装置
- (6) 生存・消火訓練用具
- (7) 荷役実習シミュレーター
- (8) その他、相互に合意した必要機材

2. 機関科用機材

- (1) ディーゼル・エンジン・プラント
- (2) 蒸気及びガスタービン・プラント（模型）
- (3) 各種ポンプ・カットモデル
- (4) 制御油圧実習装置
- (5) その他、相互に合意した必要機材

3. 各科共通

- (1) 専門書籍及びビデオソフト
- (2) 車両
- (3) その他、相互に合意した必要機材

注： 毎年供与される機材の内容と仕様は、原則として、日本の会計年度の配分予算内で、プロジェクトの年次計画に基づき、日本人専門家とモロッコ人カウンターパートの間で協議される。

別添 IV 日本人専門家に対する特権、免税及び便宜

1. 海外から送金される生活費に対する、またはそれに関連して賦課される所得税及びその他の課徴金の免除。
2. モロッコ王国内に持ち込まれた身廻品及び家財（車両1台含む）に係る課徴金及び輸出入業務の免除。
3. 医療・歯科治療及び公立病院・診療所の無料利用。
4. 専門家の職務遂行上必要なすべての公的機関の協力を確保するための、専門家及びその家族の身分証明書の交付。

別添 V モロッコ側カウンターパート及び管理要員リスト

1. 以下の分野のカウンターパート：

- (1) 船員教育（航海）、少なくとも7名
- (2) 船員教育（機関）、少なくとも7名

2. 管理要員

- (1) 管理職員
- (2) 経理職員
- (3) 秘書（英語、仏語のバイリンガル）
- (4) 資機材整備職員
- (5) 運転手
- (6) 警備員
- (7) その他の職員

別添 VI 土地、建物、施設リスト

1. プロジェクトのための、高等海事学院の土地、建物及び施設。
2. 高等海事学院の建物内の、資機材の設置及び保管に必要な部屋及びスペース
3. 高等海事学院の建物内の、日本人専門家のための空調及び必要な施設付きの執務室。
4. その他必要な施設。

別添 VII 合同委員会

1. 機能

合同委員会は、以下の機能を履行するため、少なくとも年1回、または必要な場合はいつでも、開催される：

- (1) プロジェクトの年間実施計画を策定する
- (2) 年間実施計画と同様、プロジェクト全体の進捗状況及び技術協力の達成度について再考する。
- (3) プロジェクトに関連して発生する主要な問題点について、再考及び意見交換する

2. 構成

(1) 議長

漁業・海運省、船員訓練・職業促進局長

(2) メンバー

・モロッコ側

a. 船員訓練部長

b. 生涯教育部長

c. 国際協力・法務部長

d. ISEM校長

e. その他議長に指名された者

・日本側

a. チーフ・アドバイザー

b. 業務調整員

c. 専門家

d. 必要に応じJICAが派遣した者

e. JICAモロッコ事務所長

注：オブザーバーとして在モロッコ日本国大使館員が合同委員会に参加する場合がある。

モロッコ高等海事学院プロジェクト
暫定実施計画

日本側実施協議調査団とモロッコ関係当局は、以下にアネックスとして記すプロジェクト暫定実施計画を共同で取りまとめた。

これは、本プロジェクトの実施の過程で必要が生じた場合、双方による本プロジェクトの実施のために所要予算が配分され、討議議事録の枠組の中でそのスケジュールが変更を受けるという条件で、実施協議調査団と本プロジェクトのモロッコ関係当局との間で署名された討議議事録の附属文書に沿うよう定式化された。

ラバト、1996年1月17日

望月 二郎
団長
実施協議調査団
国際協力事業団
日本国

モハメッド ラルバウイ
船員訓練・職業促進局長
漁業・海運省
モロッコ王国

協議議事録 (M/M)

モロッコ高等海事学院プロジェクトに対する
日本の技術協力に関する
実施協議調査団と
モロッコ王国政府関係者との
ミニッツ

JICAによって組織され、望月二郎を団長とする実施協議調査団は、モロッコ王国の「モロッコ高等海事学院プロジェクト」に関する技術協力計画の詳細を策定するためモロッコ王国を訪問した。

モロッコ王国滞在中、調査団は上記プロジェクトの有効な実施のために両国政府が取るべき必要な措置についてモロッコ王国政府関係者と意見を交換した。

討議の結果、調査団とモロッコ王国政府関係者は、討議議事録を補完するため、ここに添付する文書で言及する事柄について、各々の政府に勧告することに同意した。

ラバト、1996年1月17日

望月 二郎
団長
実施協議調査団
国際協力事業団
日本国

モハメッド ラルバウイ
船員訓練・職業促進局長
漁業・海運省
モロッコ王国

附属文書

1. プロジェクト管理

1. プロジェクト・デザイン・マトリックス

調査団はプロジェクトを明確・効率・効果的に管理・運営し、モニタリング・評価の参考指標として活用するため、日本のプロジェクト方式技術協力に共通して導入されている、プロジェクト・デザイン・マトリックス（以下「PDM」と略す）について説明を行った。

協議の結果、双方は下記の理解のもと、別添Ⅰに示すPDMを本プロジェクトに適用することで合意した。

- (1) PDMはプロジェクト実施に必要な技術協力の枠組に対する基本的認識を明確にするためのものであり、プロジェクト目標達成に向けての論理ステップを表わすよう論理的にデザインされたマトリックスである。
- (2) PDMは、日本側とモロッコ側の合意に基づき、プロジェクトの進捗及び達成度に応じて、柔軟に改良されるものである。
- (3) PDMに規定されている活動の進捗を再考するために、日程、人員配置及び予定投入内容などの活動実施に必要な情報を記載した実行計画（以下「PO」と略す）をPDMに添付する。

2. 実行計画

調査団はモロッコ側に、POは派遣専門家と協力して実施されることを説明した。

3. プロジェクト組織図

別添Ⅱに添付したプロジェクト実施のための、プロジェクト組織図を、調査団は説明した。

II. 討議内容

1. カウンターパート人員

以下の基準に応じてカウンターパートが配置されることで双方が合意した。

- (1) 高等海事学院（以下「I S E M」と略す）の常勤教官
- (2) 十分な英語能力を持つ者
- (3) 3年間の海事教育機関または同様の機関で、教官としての教授経験を有する者

漁業・海運省は、カウンターパート配置の日から少なくとも2年間及び本邦における研修修了後少なくとも2年間は、カウンターパートの配属職位を維持するための必要な措置を講ずることに合意した。

2. 機材及び専門家の執務スペースに関するスケジュール

別添冊に添付されている、機材導入スケジュール及び専門家の執務スペース準備スケジュールに関して双方検討し、これらのスケジュールがP Oに含まれることに合意した。

3. 適切に設備された住居

調査団は、モロッコ側が専門家の住居のための必要な準備をすることを確認した。

4. 漁業技術学院との協力

調査団は、モロッコ側が本プロジェクトの活動を補完するために、以下のアカデミック漁業技術学院の機材を共同利用するための必要な措置を取ることを再確認した。

- (1) 練習船
- (2) ディーゼル・エンジン・シミュレーター
- (3) 配電盤実習装置

Ⅲ. 1996 予算年度（日本）におけるプロジェクト実施スケジュール

1. 専門家派遣

チーフ・アドバイザー、船員教育（航海）及び（機関）の長期専門家2名、及び業務調整員が、遅延なく派遣される。

注：チーフ・アドバイザーは船員教育（航海）または（機関）専門家の兼任の可能性もあり。

2. 機材供与

1997 予算年度（日本）以降の JICA により供与される機材の仕様が決定される

3. 研修員受入れ

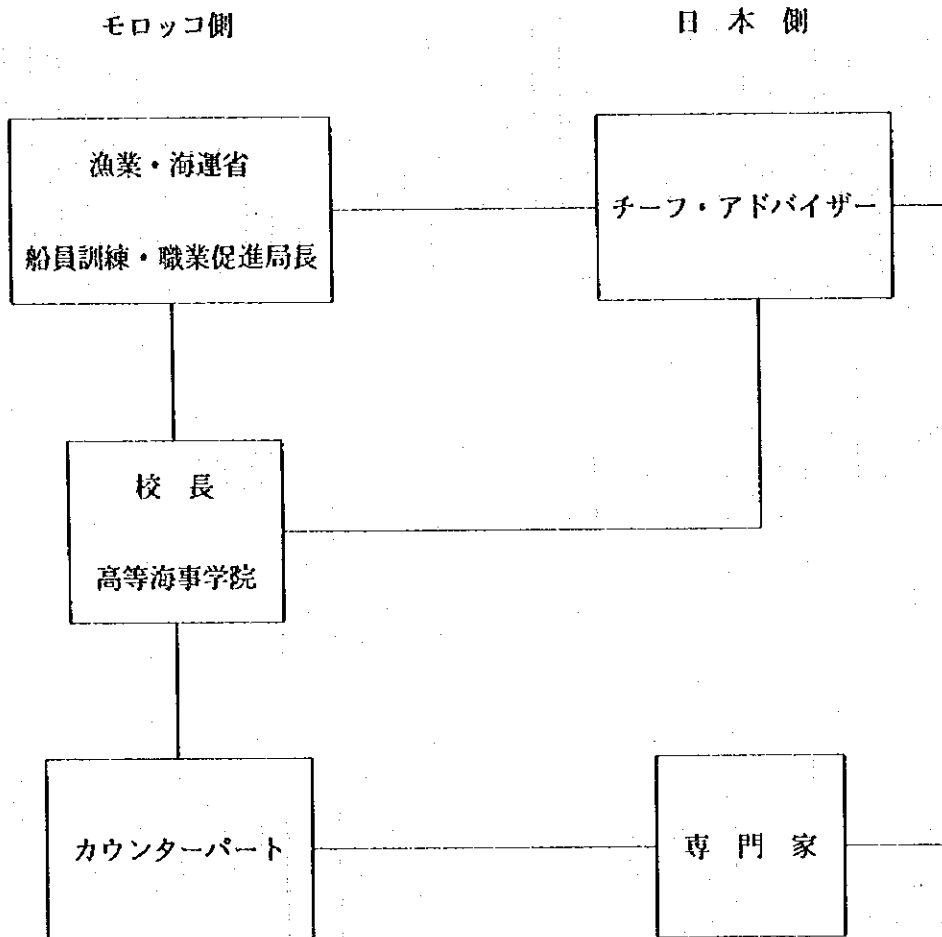
2名のカウンターパートが受入れられる。

プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

別添1	プロジェクトの要約	指 標	指標データ入手手段	外 部 条 件
<p>優秀な海事関係者が確保され、モロッコ海事セクターの発展に寄与する。</p> <p>【上位目標】</p> <p>【プロジェクト目標】</p> <p>国際訓練基準に則った、船員教育（航海）及び（強固）の訓練が、高等海事学校で実施される。</p>	<p>プロジェクトの要約</p> <p>1. STCW条約の基礎を明たし、同国のニーズに適合した船員教育方針が明確になる。</p> <p>2. 適切な実習訓練が確保される。</p> <p>3. 適切な向上訓練が確保される。</p> <p>4. 教育が適切な専門性と教授能力を有する。</p> <p>5. GMDSS関連訓練が実施される。</p> <p>6. 訓練ニーズのための適切な教材が確保される。</p>	<p>1. 商船会社のISEM卒業生雇用の増加</p> <p>2. 船員教育への証書数 (ISEM内外双方)</p> <p>3. 向上訓練修了再教育受講生数</p> <p>1.1 乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>1.2 乗船期間中の卒業受検率</p> <p>2. 向上訓練のコースの開講数</p>	<p>1. 調査開発委員会記録</p> <p>2. ISEM記録</p> <p>3. ISEM記録</p> <p>1.1 試験結果</p> <p>1.2 調査</p> <p>2. 向上訓練コースリスト</p>	<p>1. 海事セクター関連経済状況が悪化しない。</p> <p>2. 近日にモロッコがSTCW条約に批准する。</p> <p>3. 国際訓練基準が大幅には変化しない。</p>
<p>1. STCW条約の基礎を明たし、同国のニーズに適合した船員教育方針が明確になる。</p> <p>2. 適切な実習訓練が確保される。</p> <p>3. 適切な向上訓練が確保される。</p> <p>4. 教育が適切な専門性と教授能力を有する。</p> <p>5. GMDSS関連訓練が実施される。</p> <p>6. 訓練ニーズのための適切な教材が確保される。</p>	<p>1. 人員（学生、教官及び管理職員）、カリキュラム、施設及び教材に関する包括的活動計画</p> <p>2. 改正訓練カリキュラム</p> <p>3.1 詳細で、構造的な乗船実習カリキュラムの確保と乗船実習教官による利用</p> <p>3.2 改正された向上した訓練要素（カリキュラム、教材、マニュアル、教科書、施設及び教材）</p> <p>4. 改正された向上した訓練要素（カリキュラム、教材、マニュアル、教科書、施設及び教材）</p> <p>5. 各専門分野における適切な実質の教官の数</p> <p>6. GMDSS関連訓練実施</p> <p>7. 向上した訓練内容</p>	<p>1. ISEM計画書類</p> <p>2. カリキュラム書類</p> <p>3.1 カリキュラム書類</p> <p>3.2 訓練要素リスト</p> <p>4. 訓練要素リスト</p> <p>5. 教官の詳細リスト</p> <p>6. GMDSS関連訓練カリキュラム書類</p> <p>7. 訓練記録</p>	<p>1. ISEM入学者志願者の適正数の維持</p>	<p>1. ISEM入学者志願者の適正数の維持</p>
<p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>
<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>
<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>
<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>	<p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生成績半次評価</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p> <p>乗船期間中の訓練生雇用の増加</p> <p>乗船期間中の卒業受検率</p>

別添Ⅱ

プロジェクト組織図



全 体 活 動 計 画

活動	目標	活動予定				プロジェクト チーム内 責任者	投入*	備考
		1996 I II III IV	1997 I II III IV	1998 I II III IV	1999 I II III IV			
1.1. プロジェクトに沿ってISEMにおける現在のコースと現状を分析する。	ワークショップ : 1 セット	~	~	~	~	チーフ・7PM/4- 航海、機関科長 長期専門家		
1.2. 包括的活動計画であるワークショップを実行する。		~	~	~	~			
2.1. 現在の訓練プログラムを見直し、技術革新に不足している事項を明確にする。	改正訓練プログラムの : 1 セット	~	~	~	~	チーフ・7PM/4- 航海、機関科長 長期専門家		
2.2. 訓練プログラムを改正する。		~	~	~	~			
3.1. 必要なプログラム、教授マニュアル、教科書、施設及び設備を明確にする。	プログラム、教授マニュアル、教科書数 : 1 セット/コース	~	~	~	~	チーフ・7PM/4- 航海、機関科長 長期専門家 教官	ISEMにおける訓練 : 1996年より開始 乗船実習 : 1998年より開始	
3.2. 実習訓練のためのプログラム、教授マニュアル及び許可書を改正する。	訓練生数 : ISEM 年内訓練 : 乗船実習 :	~	~	~	~			
3.3. 新プログラムに沿って実習訓練を実施する。		~	~	~	~			
3.4. 詳細で、標準的な乗船実習プログラムを策定する。		~	~	~	~			
3.5. 新プログラムで乗船実習を実施する。		~	~	~	~			
4.1. 必要なプログラム、教授マニュアル、教科書、施設及び設備を明確にする。	プログラム、教授マニュアル、教科書数 : 1 セット/コース	~	~	~	~	チーフ・7PM/4- 航海、機関科長 長期専門家 教官		
4.2. プログラム、教授マニュアル及び教科書を改正する。	コース数 : 2 週間 X 14回/年	~	~	~	~			
4.3. 新プログラムに沿って、向上訓練を実施する。		~	~	~	~			
5.1. 強化されるべき教官の専門分野を明確にする。	短期専門家派遣数 : 年	~	~	~	~	チーフ・7PM/4- 航海、機関科長 長期専門家 短期専門家 教官		
5.2. カリキュラム向上計画を立案し、実施する。	研修員受入数 : 年	~	~	~	~			
6.1. プログラム、教授マニュアル及び教科書の適切な訓練資料を作成する。	プログラム、教授マニュアル、教科書数 : 1 セット/コース	~	~	~	~	長期専門家 教官		
6.2. GMDSS関連訓練を実施する。	コース数 : 3 週間 X 4回/年	~	~	~	~			
7.1. 構材の構成を設計する。	詳細計画参照	~	~	~	~	長期専門家 航海、機関科長 教官 必要な機材	7PM/4-207 7PM/4-1997年 8月までに設備完了予定。	
7.2. 設置のための実習室の準備をする。		~	~	~	~			
7.3. 設備作装を実施する。		~	~	~	~			
7.4. 運用 : 維持管理のための英語訓練を実施する。		~	~	~	~			

* 人員、機材、その他活動実施に必要なもの

5. プロジェクト実施上の留意点

5-1 実施体制

プロジェクト総括責任者を漁業・海運省、船員訓練・職業促進局長、運営責任者をISEM校長とし、航海・機関各科及び管理部門のカウンターパートと、日本側プロジェクトチームとの組織図は、4-2 討議議事録等に示したとおりである。漁業・海運省においては、当該局長以下、船員訓練部長、生涯教育部長などが中心となり、プロジェクトの統括面での省庁における業務を担当し、プロジェクトサイトのISEMにおいては、ISEM校長以下、事務長、航海科長、機関科長、各科教官など熱意を持って対応することが期待される。

当該局長及びISEM校長の連携も良好のようであり、緊急を要する重要事項に関しては、電話、ファックスなどの直接連絡によって対応できる体制のようである。

5-2 実施計画

総合的な実施計画は、4-2 討議議事録等のTSI及び全体活動計画に示したとおりである。初年度の1996年4月の長期専門家着任後、基盤整備などと平行し、初年度供与機材の仕様の検討を第一優先で行う。特にエンジンプラントに関しては、1997年8月までに設置・始動試験を終了し引き渡される必要がある。したがって、初年度年末までには入札終了し、業者、機材機種が決定され、準備工事用図面を至急に入手し、1997年1月には準備工事の設計を開始しなければならない。長期調査において準備工事設計に4週間及び施行に10週間必要との情報を得ているため、準備期間として約4か月は必要と考えられる。設置工事期間3か月と考えると、準備及び設置の工事の合計工期は7か月である。

エンジンプラント以外の機材に関しては、設置に大規模な工事は不要であるため、時間的な余裕はあるが、手続きなどの簡略化のため、平行して仕様の検討及び入札行為を行う必要があるだろう。

更に、カリキュラム、教科書、指導要領などの整備を平行して行う。STCW条約の改正が行われ、ほぼ方針が固まっているため、カウンターパートとの共同作業で、これらの整備を行うが、すでにモロッコ側でかなりこの作業が進んでいるようである。

5-3 ディーゼルエンジンプラントに関して

(1) ディーゼルエンジンプラントの設置場所などについて

長期調査時において、当該プラントの設置場所などを調査した結果、ワークショップ（ISEM施設配置図No.6）及びワークショップに隣接する増設ワークショップ（ISEM施設配置図No.35）の計2か所の候補場所のうち、後者の増設ワークショップのほうが適当で

あると報告されている。

しかし、本調査で詳細を検討した結果、増設ワークショップに当該プラントを設置する場合、通常の設置準備工事以外に、以下の理由により追加工事が必要と思われる。

① ワークショップの拡張について

- ・ディーゼルエンジン及び関連捕機類の開放、整備、点検、組立の実習、訓練を行うためのスペースが十分に取れない。
- ・工作室のスペースが取れない。
- ・制御室のスペースが取れない。

② 梁（天井）の補強工事について

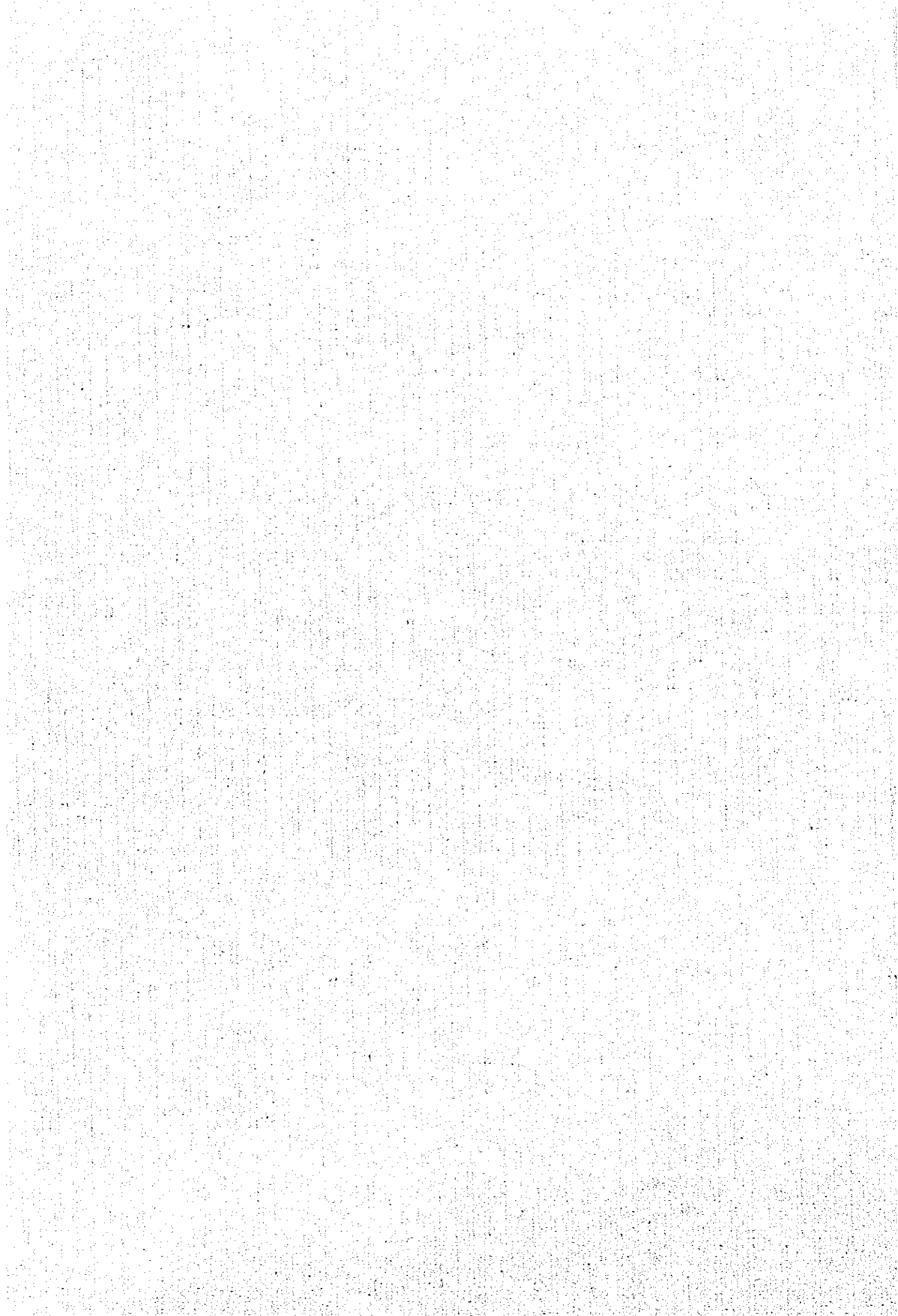
現在、当該ワークショップ内には、3トン天井クレーンが設置されているが、ディーゼルエンジンの開放時には、ピストン抜き出し時のクリアハイトがないと思われる。この条件に関しては、仕様を決定する時に十分に検討する必要がある。この3トン天井クレーンが使用できない場合には、ディーゼルエンジン上に開放用のクレーンあるいはチェーンブロック用のビームを設置しなければならない。

(2) ディーゼルエンジンプラントの現地調達について

今後、ISEM側から関連業者3社程度に対し概算見積提出を要請するとのことである。

附 属 資 料

- ① A1フォーム及びA4フォーム（アドバンス）



**TECHNICAL COOPERATION
BY THE GOVERNMENT OF JAPAN
PROPOSAL**

By the Government of THE KINGDOM OF MOROCCO
for an expert, i. e., THE HIGHER INSTITUTE FOR MARITIME STUDIES PROJECT
to the Government of Japan.

Notes. - This form has been devised for the general guidance of the Government agencies concerned (JAPAN) in order to facilitate the supply of relevant information and data necessary to afford an adequate appreciation of the nature of the technical co-operation required. The careful completion of this proposal form will avoid much reference back and lead to speedier action.

1. Background Information

This section should show as precisely as possible the general nature of the project for which the expert is required, stating whether it comes within the Government's development programme. It is important to indicate whether the project is a new enterprise or whether it was started previously. In the latter case, any assistance received under other technical co-operation programmes (e.g. under United Nations auspices) should be stated. With regard to industrial enterprises, some impression of the size is important and the output and number of workers to be employed are useful indications. The type of process, make and age of industrial or scientific equipment with which the expert will be concerned should be specified. In the case of academic establishments, it is an advantage to know the number of annual intake of students, their level of attainment, numbers and status of existing staff and details of any research facilities and the level of research being undertaken (Copies of brochures, annual reports, financial statements, calendars, syllabus of instruction etc. should be attached where applicable).

This is in reference to "The Record of Discussions" between the Japanese Implementation Study Team and the authorities concerned of the Kingdom of Morocco in connection with the Japanese Technical Cooperation for the Higher Institute for Maritime Studies (ISEM) Project. During the course of the discussions, it was agreed that the Government of Japan through the implementing agency, JICA, will assign the services of Japanese experts to the Project.

The Project is intended to improve training levels in the field of Seamen's Education (Marine Navigation and Engineering) at the ISEM in compliance with international training standards.

Annual intake of Freshmen trainees is planned to be 40 and of Upgrading trainees is planned to be 210. The capacity of the institute is 300 students when fully operational. The number of existing and available teaching staff are 25. More qualified teaching staff will be recruited in accordance with the planned personnel establishment of the institute.

Under these circumstances the Government of the Kingdom of Morocco requests for the assignment of Japanese experts to the Government of Japan.

2. Specification for the post.*

(a) post title

See Appendix

(b) duties for which the expert will be responsible. These should preferably be listed, and it is important to give as much detail as possible.

To give necessary technical/administrative guidance and advice to Moroccan counterparts and to coordinate the Project activities for successful implementation of the Project.

(c) authority to whom expert will be responsible.

The Director of the ISEM, KM 7, Route d'El Jadida, Casablanca

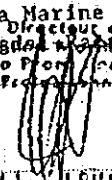
* It is essential that full particulars should be given. If the space provided is inadequate, they should be given on a separate sheet.

2. Specification for the post. (Cont'd.)	
(d) Qualification and experience required and approximate age limits	See Appendix
(e) number of personnel required.	See Appendix
3. In the case of continuous projects, give name and particulars of understudy or counterpart who is to work with the expert	This is a new Project and counterparts will be named in accordance with the necessities.
4. Terms and conditions of appointment:	
(a) duration	Five(5) years. Experts can be replaced and/or extended within five years.
(b) actual place of employment, nearest town and post office	The ISEM, KN 7, Route d'El Jadida, Casablanca
(c) if living accommodation to be provided, state whether furnished or unfurnished, and whether suitable for married man with family:	The Government of Japan is requested to provide accommodation and subsistence expenses to the Experts.
(i) daily allowance for food if accommodation only provided	N/A
(ii) daily rate for accommodation and food if neither are provided in kind	N/A
(d) daily and nightly rates of subsistence payable when away from base on duty	To be arranged by JICA
(e) are costs of internal travel paid or car provided?	To be arranged by JICA
(f) what leave arrangements are suggested?	30 days per annum
(g) extent to which free hospital and medical treatment is to be provided for the expert and his accompanying dependents, if any	As per existing Morocco Civil Service regulations
(h) shall the expert be exempted from the payment of income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any allowances to be remitted from overseas?	Yes
(i) shall the expert be exempted from the payment of customs duties and charges of any kind imposed on or in connection with the importation of equipment, machinery, materials and medical supplies as well as personal and household effects belonging to the expert and his family, including one refrigerator, one sewing machine, one radio and other electrical appliances?	Experts will be exempted from import duties and any other charges in respect of personal and household effects, which may be brought into the Kingdom of Morocco from abroad, within three months of their first arrival.
(ii) in case a car is not provided to the expert by the host government, shall the expert be exempted from the payment of customs duties and charges of any kind imposed on or in connection with the importation of a car?	Yes

<p>4. Terms and conditions of appointment (Cont'd.)</p> <p>(j) does host government undertake to indemnify expert in respect of damages awarded against him for actions performed in the course of his official duties?</p> <p>(k) approximate date on which the expert is required to arrive in receiving country</p> <p>(l) any other information</p>	<p>Yes expect for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.</p> <p>1st April, 1996</p> <p>N/A</p>
<p>5. Previous steps, if any, to fill the post:</p> <p>If any previous attempt has been made to fill the post from any external source (UN, Specialised Agency or other) please indicate:</p> <p>(a) to whom application was addressed, with date</p> <p>(b) result or present stage of negotiations</p> <p>(c) are other experts working in this area in associated projects or have there been experts working in this field previously? If so, are any reports by these experts available?</p>	<p>No other external agencies have been involved.</p> <p>--</p> <p>--</p> <p>--</p>
<p>6. Correspondence: Name, postal and telegraphic address of official to whom correspondence regarding this application should be forwarded</p>	<p>RHARBAOUI Mohamed, Directeur de la Formation Maritime et de la Promotion Socio-Professionnelle Ministère des Pêches Maritimes et de la Marine Marchande Nouveau quartier administratif - ^{Le Directeur de la Formation Socio-Professionnelle} Laforêt ^{de la Formation Socio-Professionnelle} Marocco</p>

Date: 1-7 JAN. 1996



Signed: 
on behalf of the Government of The Kingdom of Morocco

Appendix LIST OF EXPERT

1. Long term expert

<u>POST TITLE</u>	<u>NUMBER OF PERSONNEL REQUIRED</u>
Chief Advisor	one(1)
Coordinator	one(1)
Seamen's Education(Marine Navigation)	one(1)
Seamen's Education(Marine Engineering)	one(1)

NOTE: The Chief Advisor may concurrently be either the Expert on Seamen's Education(Marine Navigation) or the Expert on Seamen's Education(Marine Engineering)

2. Short term expert

<u>POST TITLE</u>	<u>NUMBER OF PERSONNEL REQUIRED</u>
Seamen's Education(Marine Navigation)	as necessary
Seamen's Education(Marine Engineering)	as necessary
Others	as necessary

NOTE: Short term Experts will be dispatched as necessary for the smooth implementation of the Project.

**TECHNICAL COOPERATION
BY THE GOVERNMENT OF JAPAN
PROPOSAL**

THE KINGDOM OF MOROCCO

By the Government of to the Government of Japan
for the supply of equipment

- Notes.** - (1) This form has been devised for the general guidance of co-operating countries in order to facilitate the supply of relevant information and data necessary to afford an adequate appreciation of the nature of the technical assistance required. The careful completion of this proposal form will avoid much reference back and lead to speedier action.
- (2) The requisite number of copies of the Form A4 duly endorsed by the appropriate Foreign Aid Department of the requesting government should be forwarded to the donor government concerned through the appropriate channels.
- (3) The equipment to be supplied by the Government of Japan will become the property of the requesting government upon receipt of the shipping documents through the Japanese Embassy. Since the equipment is supplied on C.I.F. basis, it is requested that the recipient government will meet:
- (a) customs duties, internal taxes and other similar charges, if any, imposed in respect of the equipment, and
(b) expenses necessary for the transportation, installation, operation and maintenance of the equipment.

<p>1. Background Information Please describe as concisely as possible the general outlines of the project for which the equipment is required, indicating whether the latter is (a) for use by an expert in the performance of his duties (b) for a training scheme of institution or (c) for a research institution. If either (b) or (c) please say whether the equipment is for the establishment of a new institution or the expansion or re-organisation of an existing one (e.g., by the provision of a new department, etc.). The name and exact location of the institution, its approximate cost and the authority responsible for it should be stated. Where appropriate details should be given of the availability of any services required for the operation of the equipment. This would include operation by electricity (i.e. type of current, periodicity, voltage and any variations, phases, frequency etc. and if D.C. is the only current available please give full details), water reticulation or steam gas etc. Details of similar equipment already in use should be given.</p>	<p>The Japanese Technical Cooperation for the Improvement of the Higher Institute for Maritime Studies (ISEM) Project. Reference to "The Record of Discussions" between the Japanese Implementation Study Team and the authorities concerned of the Government of the Kingdom of Morocco on the technical cooperation for the provision of machinery and equipment necessary for the implementation of the Project. The equipment will be used for training purpose for Freshmen and Upgrading trainees at the institute.</p>
<p>2. Description of equipment required. Please give a full description of each item and general specifications where possible. The manufacturer and estimated cost of each item if known together with details of the proposed end use of item should be given. Where applicable, give details of any special packing or tropic proofing required and indicate whether handbooks or instruction data supplied in English will suffice. If appropriate, please indicate any required priorities or phasing of deliveries and advise whether adequate facilities exist for maintenance and servicing of the type of equipment requested. (If lengthy, detailed lists should be annexed; it would be convenient to have separate annexures for (a) films; (b) books and (c) other equipment.)</p>	<p>See Appendix</p>
<p>3. Has this equipment request already been directed to any other Agency or country and if so to whom was it addressed and with what result?</p>	<p>No</p>
<p>4. Has the list of equipment already been discussed with representatives of the supplying country/ies? If so, please indicate what stage the discussions have reached.</p>	<p>No</p>
<p>5. Furnish full particulars in respect of- (a) Consignee; (b) Official to receive documents and enquiries; and (c) Clearing agent at port of entry.</p>	<p>The Director of the ISEM The Director of the ISEM The Director of the ISEM</p>

<p>6. Where equipment is required for use by an expert Please indicate-</p> <p>(a) The country or agency from which the expert has been requested or obtained.</p> <p>(b) His duties and length of secondment (a reference to the relative Form A. 1 will suffice when the expert is being provided by the country to whom the equipment request is addressed).</p> <p>(c) What use is proposed for the equipment when the expert's period of secondment terminates?</p> <p>(d) By what date is the equipment required?</p>	
<p>7. Where equipment is required for Training or Research Institutions Please indicate-</p> <p>(a) Nature and standard of training or research to be undertaken.</p> <p>(b) Total number of students to be accommodated from within the country or from elsewhere in the Region, the qualifications for admission, the duration of courses, and the annual output of trainees.</p> <p>(c) Whether there is already a similar institute(s) in existence in the country. If so, please give details.</p> <p>(d) Whether buildings are already available. If not has construction started and when is it expected to be completed?</p> <p>(e) Whether qualified staff to handle the equipment has been recruited or is proposed to be recruited locally. If not is it proposed:- (i) to recruit foreigners under aid programmes? (ii) to train locally recruited personnel abroad in handling equipment? (the reference numbers of any Forms A. 1 or A. 2 relating to such requests should be quoted)</p> <p>(f) Taking into account the answers to (d) and (e) above, what is the date by which the equipment is required and the date on which training or research work is to commence.</p> <p>(g) Whether any assistance in drawing up the Scheme has been obtained from outside experts? (Any specialist reports or Government surveys (e.g., Educational Committee Reports, etc.), bearing on the request should be provided if possible)</p>	<p>(a) The Equipment will be used in the training of Freshmen and Upgrading trainees pursuing courses in Marine Navigation and Engineering.</p> <p>(b) A total of 330 trainees will be enrolled at the institute. They will have the baccalaureat on technology or mathematics and/or science. The annual output will be 250 trainees.</p> <p>(c) This is the only institute of its kind in the country that will be offering courses for the Higher officer on deck and engine.</p> <p>(d) Already available.</p> <p>(e) Already available.</p> <p>(f) The equipment is required immediately after the commencement of the Project in April, 1996.</p> <p>(g) No.</p>
<p>8. Correspondence Name, Postal and Telegraphic Address of official to whom correspondence regarding this proposal is to be forwarded</p>	<p>RHARBAOUI Mohamed, Directeur de la Formation Maritime et de la Promotion Socio-Professionnelle Ministère des Pêches Maritimes, de la Marine Marchande Nouveau quartier administratif, Rabat - Morocco</p>



Signed: *[Signature]*
 Sigat: **RHARBAOUI**

Date: **17 JAN, 1996**

For use only by Donor Government
 Proposal accepted/rejected/withdrawn
 on behalf of the Department of

Date:

Appendix LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Marine Navigation

- (1) Hull construction models (tanker, container carrier, general cargo carrier)
- (2) Safety equipment (Oxygen detector and others)
- (3) Software for loading calculator
- (4) First aid equipment for artificial respiration training
- (5) Training equipment for meteorological observation
- (6) Survival and firefighting equipment (cut model of extinguishers, life raft, self contained breathing apparatus, etc.)
- (7) Cargo handling simulator (Tanker operation)
- (8) Other necessary machinery and equipment to be mutually agreed upon.

2. Marine Engineering

- (1) Diesel engine plant
- (2) Models of steam turbine plant and gas turbine plant
- (3) Cut models of various types of pumps
- (4) Hydraulic system teaching material
- (5) Other necessary machinery and equipment to be mutually agreed upon.

3. General

- (1) Technical books and video software
- (2) Vehicle(s)
- (3) Other necessary machinery and equipment to be mutually agreed upon.

Note : The contents and specifications of the Equipment to be provided in each year will be discussed, in principle, every year between the Japanese experts and the Moroccan counterpart personnel based on the annual plan within the allocated budget of each Japanese fiscal year.

JICA